ASRock

H97 Pro4

ユーザーマニュアル

バージョン 1.0
2014 年 4 月発行
Copyright© 2014 ASRock INC.無断複写・転載を禁じます。

著作権について：

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項：

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示的にも黙示的にも、黙示的保証、商品適格性、または特定目的への適合性を含む、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を 事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害（利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中断などを含む）への責任を負いかねます。

この装置は、FCC規則のパート 15 に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従います：
(1) 本装置は有害な干渉を発生しない。および
(2) 本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる。

米国カリフォルニア州のみ

このマザーボードに採用されたリチウム電池は、カリフォルニア州議会で可決されたベストマネジメントプラクティス（BMP）で規制される有害物質、過塩素酸塩を含んでいます。米国カリフォルニア州でリチウム電池を廃棄する場合は、関連する規制に従って行ってください。
「過塩素酸塩物質 - 特別な処理が適用される場合があります。詳しくは、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください」

アスロックウェブサイト http://www.asrock.com

HDMI™ および HDMI ハイデフィニションマルチメディアインターフェース、ならびに HDMI のロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

内容

第 1 章 はじめに **1**

1.1 パッケージの内容 1

1.2 仕様 2

1.3 独自の機能 6

1.4 マザーボードのレイアウト 10

1.5 I/O パネル 12

第 2 章 取り付け **14**

2.1 CPU を取り付ける 15

2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける 18

2.3 メモリモジュール（DIMM）を取り付ける 19

2.4 拡張スロット（PCI スロットと PCI Express スロット） 21

2.5 ジャンパー設定 22

2.6 オンボードのヘッダーとコネクター 23

第 3 章 ソフトウェアとユーティリティの操作 **28**

3.1 ドライバを取り付ける 28

3.2 A-Tuning 29

3.3 Intel® Rapid Start Technology
(Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー) 35

3.4 Intel® Smart Connect Technology
(Intel® スマート・コネクト・テクノロジー) 40

3.5 ASRock Cloud 45

3.5.1 Intel® Remote Wake Technology
(Intel® リモート・ウェイク・テクノロジー) 46

3.5.2 Orbweb.ME Professional を設定して使用する 47

3.6 ASRock APP ショップ 55

3.6.1 UI Overview（UI 概要） 55

3.6.2 Apps（アプリ） 56

3.6.3 BIOS & Drivers（BIOS とドライバ） 59

3.6.4 Setting（設定） 60

3.7 Start8 61

第 4 章 UEFI セットアップユーティリティ 64

4.1 はじめに 64

4.1.1 UEFI メニューバー 64

4.1.2 ナビゲーションキー 65

4.2 Main (メイン) 画面 66

4.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面 67

4.4 Advanced (詳細) 画面 76

4.4.1 CPU 設定 77

4.4.2 チップセット設定 79

4.4.3 ストレージ設定 81

4.4.4 Intel® Rapid Start Technology
(Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー) 83

4.4.5 Intel® Rapid Start Technology
(Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー) 84

4.4.6 スーパー IO 設定 85

4.4.7 ACPI 設定 86

4.4.8 USB 設定 88

4.4.9 トラステッド・コンピューティング 90

4.5 Tools (ツール) 91

4.6 Hardware Health Event Monitoring
(ハードウェア ヘルス イベント監視) 画面 94

4.7 Boot (ブート) 画面 95

4.8 Security (セキュリティ) 画面 98

4.9 Exit (終了) 画面 99

第1章 はじめに

ASRock H97 Pro4 マザーボードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ASRock H97 Pro4 マザーボードは、ASRock の一貫した厳格な品質管理の下で製造された信頼性の高いマザーボードです。アスロックの品質と耐久性の取り組みに準拠した堅牢な設計を持つ、優れたパフォーマンスを提供します。

本マニュアルの第1章と第2章では、マザーボードの説明と、ステップごとのインストールガイドが含まれています。第3章には、ソフトウェアとユーティリティーの操作ガイドが含まれています。第4章には、BIOSセットアップの設定ガイドが含まれています。

マザーボードの仕様とBIOSソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なくアスロックのウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトで参照ください。アスロックのウェブサイトでは、最新のVGAカードおよびCPUサポート一覧もご覧になれます。アスロックウェブサイト http://www.asrock.com.

1.1 パッケージの内容

- ASRock H97 Pro4 マザーボード（ATX フォームファクタ）
- ASRock H97 Pro4 クイックインストールガイド
- ASRock H97 Pro4 サポート CD
- 2 x シリアルATA（SATA）データケーブル（オプション）
- 1 x I/Oパネルシールド

日本語

1.2 仕様

プラットフォーム	• ATXフォームファクター • オール固体コンデンサー設計 • 高密度ガラス繊維 PCB
独自の機能	**ASRock 超合金** • プレミアム・アロイ・チョーク（鉄粉製チョークと比較して、コア損失を 70% 低減します） • NexFET™ MOSFET • サファイアブラック PCB **ASRock 完全スパイク保護** **ASRock Cloud** **ASRock APP ショップ**
CPU	• 第 5 世代、新第 4 世代および第 4 世代 Intel® Core™ i7/i5/i3/Pentium®/Celeron® プロセッサーに対応（ソケット 1150） • デジタル電源設計 • 4 電源フェーズ設計 • Intel®ターボブースト2.0テクノロジーをサポート
チップセット	• Intel® H97 • Intel® スモールビジネスアドバンテージ2.0をサポート
メモリ	• デュアルチャンネルDDR3メモリテクノロジー • 4 x DDR3 DIMM スロット • DDR3 1600/1333/1066 ノン ECC、アンバッファードメモリに対応 • システムメモリの最大容量：32GB（注意を参照） • Intel®エクストリームメモリプロファイル（XMP）1.3/1.2 をサポート
拡張スロット	• 1 x PCI Express 3.0 x16 スロット（PCIE2：x16モード） • 3 x PCI Express 2.0 x1 スロット • 2 x PCI スロット

日本語

グラフィックス

- Intel®HDグラフィックス内蔵ビジュアルおよびVGA出力は、GPUに統合されたプロセッサーのみでサポートされます。
- Intel®HDグラフィックス内蔵ビジュアルをサポート：AVC、MVC (S3D)、MPEG-2フルHWエンコード1のIntel® Quick Sync Video、Intel® InTru™ 3D、Intel®クリアビデオHDテクノロジー、Intel®インサイダー™、Intel® HDグラフィックス4400/4600
- Pixel Shader 5.0, DirectX 11.1
- 最大共有メモリ1792MB
- 3 つのグラフィックス出力オプション:D-Sub、DVI-D、HDMI
- 3 台のモニターに対応
- HDMI に対応、最大解像度 1920x1200 @ 60Hz
- DVI-Dをサポート。最大解像度1920x1200 @60Hz
- D-Subをサポート。最大解像度1920x1200 @60Hz
- HDMI ポートでオートリップシンク、ディープカラー（12bpc）、xvYCC、および、HBR（高ビットレートオーディオ）に対応（HDMI 対応モニターが必要です）
- DVI-D ポートと HDMI ポートで HDCP に対応
- DVI-D ポートと HDMI ポートで Full HD 1080p Blu-ray (BD) 再生に対応

オーディオ

- 7.1 CH HDオーディオ、コンテンツプロテクション付き（Realtek ALC892オーディオコーデック）
- プレミアム・ブルーレイ・オーディオ・サポート
- サージ保護に対応（ASRock 完全スパイク保護）
- ELNA 製オーディオコンデンサ

LAN

- ギガビットLAN 10/100/1000 Mb/秒
- ギガ PHY Intel® I218V
- Intel®リモートウェイクテクノロジーをサポート
- ウェイクオンランをサポート
- 雷/静電気放電（ESD）保護に対応（ASRock 完全スパイク保護）
- エネルギー効率のよいイーサネット802.3azをサポート
- PXEをサポート

リアパネルI/O	• 1 x PS/2 マウス/キーボードポート • 1 x D-Subポート • 1 x DVI-Dポート • 1 x HDMIポート • 2 x USB 2.0 ポート（静電気放電（ESD）保護に対応（ASRock 完全スパイク保護）） • 4 x USB 3.0 ポート（静電気放電（ESD）保護に対応（ASRock 完全スパイク保護）） • LED付き 1 x RJ-45 LANポート（ACT/LINK LEDとSPEED LED） • HD オーディオジャック:サイドスピーカー/リアスピーカー/センター/バス/ラインイン/フロントスピーカー/マイク
ストレージ	• 6 x SATA3 6.0 Gb/s コネクタ、RAID（RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、Intel ラピッド・ストレージ・テクノロジー 13 および Intel スマート・レスポンステクノロジー）、NCQ、AHCI、および、ホットプラグ機能に対応
コネクター	• 1 x COM ポートヘッダー • 1 x TPM ヘッダー • 1 x 電源 LED ヘッダー • 2 x CPU ファンコネクタ（1 x 4 ピン、1 x 3 ピン） • 2 x シャーシファンコネクタ（2 x 4 ピン） • 1 x 電源ファンコネクタ（3 ピン） • 1 x 24 ピン ATX 電源コネクタ • 1 x 8 ピン 12V 電源コネクタ • 1 x PCIe 電源コネクタ • 1 x 前面パネルオーディオコネクタ • 2 x USB 2.0 ヘッダー（4 個の USB 2.0 ポートに対応）（静電気放電（ESD）保護に対応（ASRock 完全スパイク保護）） • 1 x USB 3.0 ヘッダー（2 個の USB 3.0 ポートに対応）（静電気放電（ESD）保護に対応（ASRock 完全スパイク保護））
BIOS機能	• 128Mb AMI UEFI Legal BIOS、多言語 GUI サポート付き • ACPI 1.1 準拠ウェイクアップイベント • SMBIOS 2.3.1 サポート • CPU、DRAM、PCH 1.05V、電圧マルチ調整

サポートCD	• ドライバ、ユーティリティ、アンチウイルスソフトウェア（トライアル版）、Google Chrome ブラウザとツールバー、Start8（30 日トライアル版）、Orbweb.ME Professional (Win 8.1)
ハードウェアモニター	• CPU/シャーシ温度センシング • CPU/シャーシ/電源ファンタコメーター • CPU/シャーシクワイエットファン（CPU 温度に従ってシャーシファン速度を自動調整） • CPU/シャーシファンマルチ速度制御 • 電圧監視:+12V、+5V、+3.3V、CPU Vcore
OS	• Microsoft® Windows® 8.1 32-bit / 8.1 64-bit / 8 32-bit / 8 64-bit / 7 32-bit / 7 64-bit
認証	• FCC、CE、WHQL • ErP/EuP Ready（ErP/EuP 対応電源供給装置が必要です）

** 商品詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。http://www.asrock.com*

BIOS設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンポーネントやデバイスが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

Windows® 32ビットオペレーティングシステムでの、システム使用に割り当てられた実際のメモリサイズは制限のため、4GB未満のことがあります。Windows® 64 ビットのオペレーティングシステムでは、そのような制限はありません。Windows®では使えないメモリを使用するために、ASRock XFast RAMを使用することができます。

1.3 独自の機能

ASRock 超合金

スピード、安定性、耐久性に関してより一層の向上をはかるため、超合金の技術で設計されています。XXLアルミ合金ヒートシンク、プレミアム合金チョーク、デュアルスタックMOSFET、NexFET™ MOSFET、12Kプラチナキャップ、そしてサファイアブラックPCB。

ASRock 完全スパイク保護

3つのユニークな機能搭載
サージ電圧保護、落雷からの保護、静電気からの保護。
特別なICチップと回路図を見直すことによって、特定の位置にあるオンボードUSBポート、LANポート、MOSFEET、をサージ、スパイク、放電から保護します。

ASRock Cloud

このマザーボードはオンボード Intel LAN でリモートウェイクアップに対応します。世界中のどこにいてもお使いの PC に接続できます。その他のスマートフォン、タブレット、または、コンピュータからお使いの PC の電源のオン/ オフを切り替えたり、遠隔監視および遠隔制御ができます。

* OrbWeb ME はサードパーティが提供します。制限が適用されることがあります。また、サードパーティによって予告なく変更、終了、または、生産停止されることがあります。詳細については次のウェブサイトをご覧ください :http://www.asrock.com/feature/cloud/index.html

ASRock APP ショップ

ASRock APPはとても便利です。私たちは豊富なアプリとソフトウェアをAPPストアを通じてご提供しています。システムの最適化や、マザーボード情報のアップデートを数クリックで行うことができます。

ASRock A-Tuning

A-Tuning は、新しいインターフェース用の多目的ソフトウェアです。XFast RAM、Dehumidifier (除湿)、Good Night LED (おやすみ LED)、FAN-Tastic Tuning (ファン調整)、OC Tweaker（OC 調整）など、新機能や拡張ユーティリティを搭載しています。

ASRock ディスクヘルスレポート

詳細なHDDの情報を表示する機能です。ご使用のHDDの型名、空き容量、温度、S.M.A.R.T info、正常な状態か等の情報を表示します。

ASRock USB キー

時は金なりの世界で、なぜ Windows にログインするために毎日ユーザー名を入力して貴重な時間を無駄にしているのですか?なぜ長いパスワードを覚えることに悩まされなければならないのですか?USB キーを差し込むだけで Windows に自動的にログインできます。

ASRock System Browser（ASRock システムブラウザ）

ASRock System Browser は、現在の PC と接続されたデバイスの概要を表示します。

ASRock APP チャージャー

ASRock APP チャージャーをインストールすれば、お使いの iPhone/iPad/iPod Touch の充電時間を、コンピュータで充電する場合よりも最大 40% 短縮できます。ASRock APP チャージャーを使用すれば、多くの Apple デバイスを同時に充電できます。また、PC がスタンバイモード（S1）、サスペンド・トゥ RAM（S3）、ハイバネーションモード（S4）、電源オフ（S5）の状態でも引き続き充電できます。

ASRock XFast LAN

ASRock XFast LAN はインターネットアクセスを高速化します。次のような機能があります。LAN アプリケーションの優先順位付け:アプリケーションの優先順位を最適に設定したり、新しいプログラムを一覧に追加できます。ゲームの待ち時間を短縮:オンラインゲームの優先順位を高く設定すれば、ゲームの待ち時間を短縮できます。トラフィックシェーピング:Youtube HD ビデオを見ながら、同時に別のファイルをダウンロードできます。あなたのデータのリアルタイム分析:ステータスウィンドウで、現在転送しているデータストリームを容易に確認できます。

ASRock XFast RAM

ASRock XFast RAM は F-Stream に含まれています。Windows® 32-bit オペレーティングシステムでは使用できないメモリ容量を完全に使用します。ASRock XFast RAM は、以前に閲覧したウェブサイトの読み込み時間を短縮して、ウェブサーフィンをこれまでになく高速化します。また、Adobe Photoshop をこれまでの 5 倍の速度で処理できます。さらに、ASRock XFast RAM は、SSD または HDD へのアクセス頻度を減らして、SSD や HDD の寿命を延ばします。

ASRock Restart to UEFI（UEFI のための再起動）

Windows® 8 が究極の起動体験をお届けします。設定によっては起動速度がとても速くなるので、UEFI セットアップページへのアクセスが難しくなります。ASRock Restart to UEFI（UEFI のための再起動）を使用すれば、PC をオンにした時にUEFI ページが自動的に開きます。この機能を有効にすると、再起動した後で PC は UEFI ページを直接開きます。

ASRock フル HD UEFI

新UEFIの解像度は1920 x 1080です。より簡単に、設定しやすくデザインされました。フルHD解像度で、BIOSアップデート、最適化、セットアップが今までよりも簡単で明確になりました。

ASRock My Favorites in UEFI（UEFI 内の ASRock お気に入り）

よく使用するBIOS の設定をお気に入りに登録できます。画面の右側の角に★印のアイコンをクリックすると、「お気に入り」を選択することができます。

ASRock UEFI Guide（ASRock UEFI ガイド）

UEFIを最適化する必要がありますか?UEFIページをなくしてしまいましたか?そんな時は「UEFI GUIDE(UEFIガイド)」を選んでください。UEFIの設定方法をとても細かく説明してくれます。UEFIのカスタマイズが簡単に行えます。

ASRock Instant Flash（ASRock インスタントフラッシュ）

ASRock Instant Flash（インスタントフラッシュ）はフラッシュ ROM に組み込まれている BIOS フラッシュユーティリティです。この便利な BIOS 更新ツールを使用すれば、数回クリックするだけでシステム BIOS を更新できます。その際には、追加フロッピーディスケットやその他の複雑なフラッシュユーティリティを準備する必要はありません。新しい BIOS ファイルを USB ストレージに保存して、POST 中に <F6> または <F2> を押してこのツールを起動すれば、BIOS セットアップメニューが開いて、ASRock Instant Flash（インスタントフラッシュ）にアクセスできます。USB フラッシュドライブまたはハードドライブ FAT32/16/12 ファイルシステムを使用しなければなりません。

ASRock Internet Flash（インターネットフラッシュ）

ASRock Internet Flash（インターネットフラッシュ）は、弊社のサーバーから最新の UEFI ファームウェアバージョンをダウンロードして更新します。その際には、Windows® OS を開く必要はありません。[Internet Flash] (インターネット フラッシュ) を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

ASRock Crashless BIOS（ASRock クラッシュレス BIOS）

ASRock のクラッシュレス BIOS により、失敗の心配なく、BIOS を更新できます。BIOS の更新処理中に停電が発生した場合は、ASRock クラッシュレス BIOS が電源復旧後に自動的に BIOS 更新処理を完了します。BIOS ファイルはお使いの USB ディスクのルートディレクトリに置く必要があります。この機能に対応するのは USB 2.0 ポートだけです。

ASRock OMG（Online Management Guard、オンライン管理ガード）

OMG により、管理者は特定の時間帯にインターネットアクセスを制限することができます。インターネットアクセスをその他のユーザーに許可する開始時間と終了時間をスケジュールすることができます。OMG をユーザーがバイパスするのを防ぐためには、システム時間を変更する権限のないゲストアカウントが必要となります。

ASRock UEFI テクニカルサービス

お使いのパーソナルコンピュータで問題が発生した場合は、UEFI セットアップユーティリティから ASRock 技術サービスまでご連絡いただけます。発生した問題のカテゴリを選択して、問題の詳細を説明し、画像やログファイルを添付して弊社技術サポートチームまでご連絡ください。

ASRock 除湿機能

「除湿機能」を有効にすれば、湿度によるマザーボードの破損を防止できます。この機能を有効にすると、S4/S5 ステートになった後で、コンピュータの電源が自動的にオンになってシステムを除湿します。

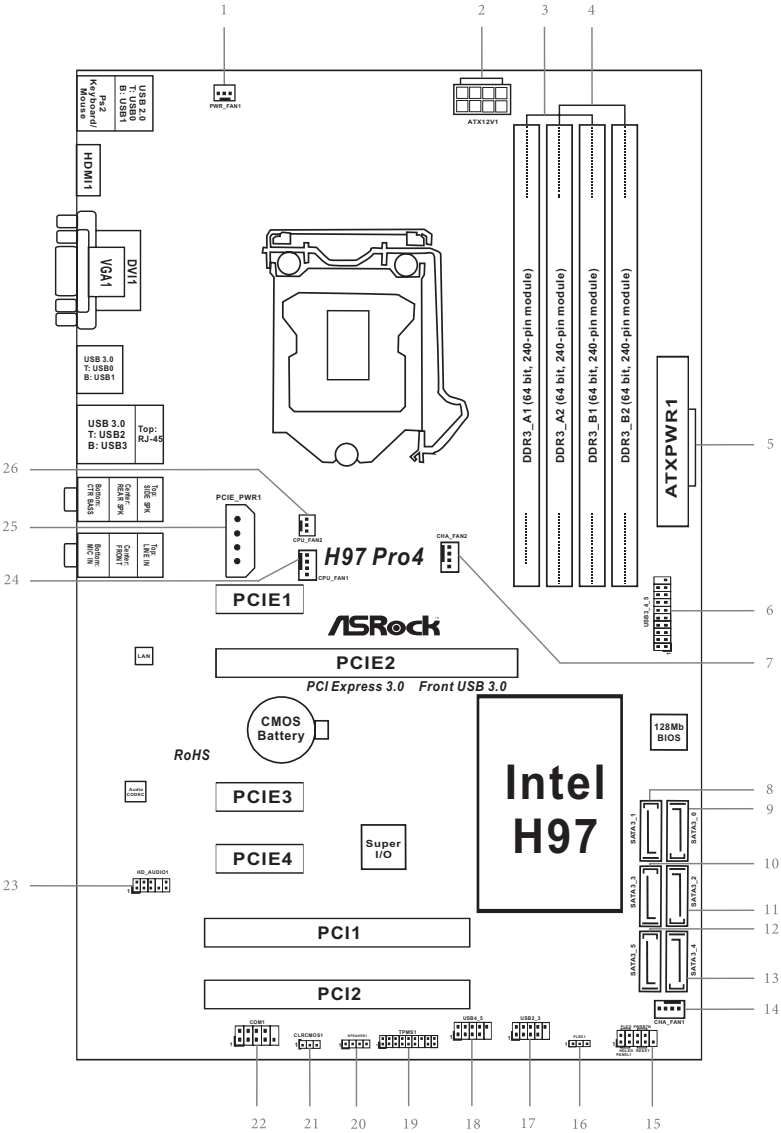
ASRock Easy RAID Installer（ASRock イージー RAID インストーラ）

ASRock イージー RAID インストーラを使用すれば、RAID ドライバをサポート CD から USB ストレージデバイスに簡単にコピーできます。RAID ドライバをお使いの USB ストレージデバイスにコピーした後で、「SATA Mode（SATA モード）」を「RAID」に変更してください。これで、RAID モードで OS のインストールを開始できます。

ASRock イージー ドライバインストーラ

付属の CD を挿入するディスクドライブがない場合に便利な UEFI のツールです。USB ストレージ デバイス経由で LAN ドライバーをお使いのシステムにインストールし、その後、その他の必要なドライバーも自動的にダウンロードします。

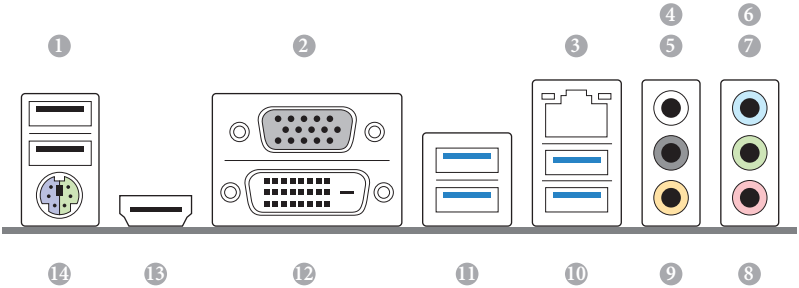
1.4 マザーボードのレイアウト



日本語

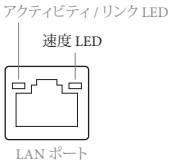
番号	説明
1	電源ファンコネクタ（PWR_FAN1）
2	ATX 12V 電源コネクタ（ATX12V1）
3	2 x 240 ピン DDR3 DIMM スロット（DDR3_A1、DDR3_B1）
4	2 x 240 ピン DDR3 DIMM スロット（DDR3_A2、DDR3_B2）
5	ATX 電源コネクタ（ATXPWR1）
6	USB 3.0 ヘッダー（USB3_4_5）
7	シャーシファンコネクタ（CHA_FAN2）
8	SATA3 コネクタ（SATA3_1）
9	SATA3 コネクタ（SATA3_0）
10	SATA3 コネクタ（SATA3_3）
11	SATA3 コネクタ（SATA3_2）
12	SATA3 コネクタ（SATA3_5）
13	SATA3 コネクタ（SATA3_4）
14	シャーシファンコネクタ（CHA_FAN1）
15	システムパネルヘッダー（PANEL1）
16	電源 LED ヘッダー（PLED1）
17	USB 2.0 ヘッダー（USB2_3）
18	USB 2.0 ヘッダー（USB4_5）
19	TPM ヘッダー（TPMS1）
20	シャーシスピーカーヘッダー（SPEAKER1）
21	クリア CMOS ジャンパー（CLRCMOS1）
22	COM ポートヘッダー（COM1）
23	フロントパネルオーディオヘッダー（HD_AUDIO1）
24	CPU ファンコネクタ（CPU_FAN1）
25	PCIe 電源コネクタ（PCIE_PWR1）
26	CPU ファンコントローラ（CPU_FAN2）

1.5 I/O パネル



番号	説明	番号	説明
1	USB 2.0 ポート(USB01)	8	マイクロフォン(ピンク色)
2	D-Sub ポート	9	セントラル / バス(オレンジ色)
3	LAN RJ-45 ポート*	10	USB 3.0 ポート(USB3_23)
4	サイドスピーカー(グレイ)	11	USB 3.0 ポート(USB3_01)
5	リアスピーカー(黒色)	12	DVI-D ポート
6	ライン入力(明るい青色)	13	HDMI ポート
7	フロントスピーカー(ライム色)**	14	PS/2 マウス/キーボードポート

** 各 LAN ポートにそれぞれ 2 つの LED があります。LAN ポートの LED 表示については下の表を参照してください。*



アクティビティ / リンク LED		速度 LED	
状態	説明	状態	説明
消灯	リンクなし	消灯	10Mbps 接続
点滅	データアクティビティ	オレンジ色	100Mbps 接続
点灯	リンク	緑色	1Gbps 接続

*** 2 チャンネルスピーカーを使用する場合は、スピーカーのプラグを「フロントスピーカージャック」に接続してください。使用するスピーカーのタイプに従って、下の表に記載されている接続に関する詳細説明を参照してください。*

オーディオ出力チャンネル	フロントスピーカー（No. 7）	リアスピーカー（No. 5）	セントラル / バス（No. 9）	ライン入力（No. 6）
2	V	--	--	--
4	V	V	--	--
6	V	V	V	--
8	V	V	V	V

マルチストリーミングを有効にするには、フロントパネルオーディオケーブルをフロントパネルオーディオヘッダーに接続する必要があります。コンピュータを再起動すると、システム上に「Mixer（ミキサー）」ツールが表示されます。「Mixer ToolBox（ミキサーツールボックス）」 を選択して、「Enable playback multi-streaming（再生マルチストリーミングを有効にする）」をクリックし、次に、「ok」をクリックします。「2CH」、「4CH」、「6CH」、または、「8CH」を選択して、「Realtek HDA Primary output（Realtek HDA プライマリー出力）」を選択すれば、リアスピーカー、セントラル/バス、および、フロントスピーカーを使用できます。「Realtek HDA Audio 2nd output（Realtek HDA オーディオ・セカンド出力）」を選択すれば、フロントパネルオーディオを使用できます。

第 2 章 取り付け

これは ATX フォームファクタのマザーボードです。マザーボードを取付ける前に、シャーシの設定を確認し、マザーボードを取り付けることができることを確認してください。

取り付け前の注意事項

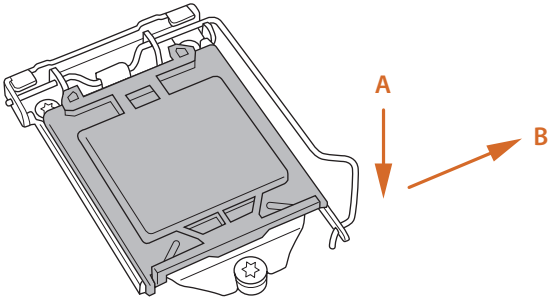
マザーボードコンポーネントを取り付けたり、マザーボードの設定を変更する前に、次の注意事項をよくお読みください。

- マザーボードを設置/取り外しをする場合は、必ず電源コードが抜いてください。電源コードが繋がれたままで作業を行うと、怪我をしたり、マザーボードが破損する可能性がございます。
- 静電気によってマザーボードの部品が破損することを防止するために、マザーボードはカーペットの上に置かないでください。また、静電気防止リストストラップを着用するか、または、部品を取り扱う前に静電気除去オブジェクトに触れてください。
- 基盤の端をつかんでください。IC には触れないでください。
- マザーボードを取り外す場合は、取り外したマザーボードを接地した静電気防止パッドの上に置くか、商品に付属している袋に入れてください。
- マザーボードをシャーシに固定する為にねじを使う場合は、ねじを締め付けすぎないでください。ねじを締め付けすぎると、マザーボードが破損することがあります。

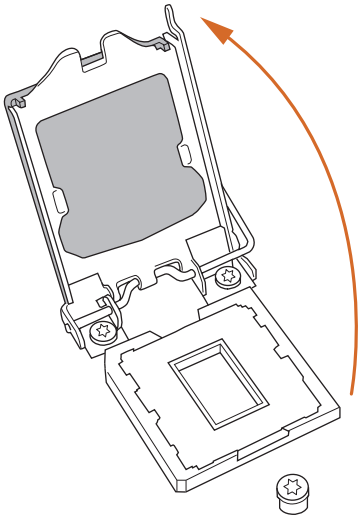
2.1 CPU を取り付ける

1. *1150 ピン CPU をソケットに挿入する前に、**PnP キャップ** がソケット上にあること、CPU 表面に汚れがないこと、または、ソケット内に**曲がったピン**がないことを確認してください。PnP キャップ がソケット上になかったり、CPU 表面が汚れていたり、または、ソケット内に曲がったピンがある場合は、CPU を無理にソケット内に挿入しないでください。CPU を無理にソケット内に挿入すると、CPU の甚大な破損につながります。*
2. *CPU を取り付ける前に、すべての電源ケーブルを取り外してください。*

1

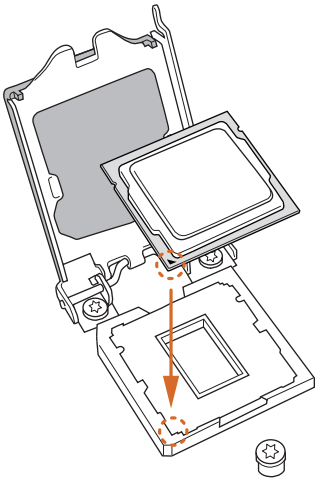


2

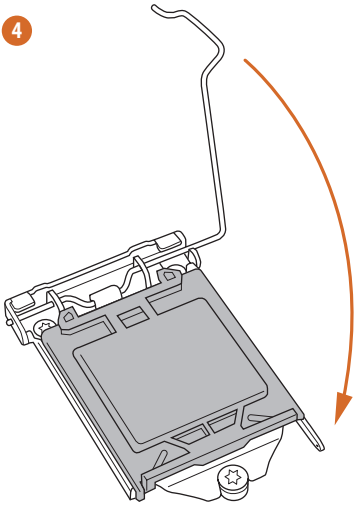


日本語

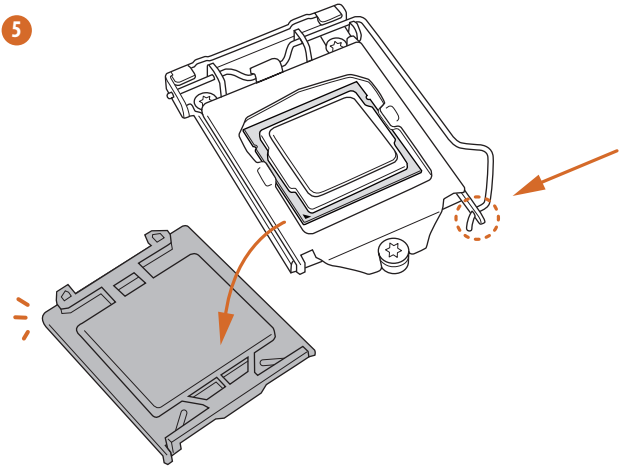
3



4



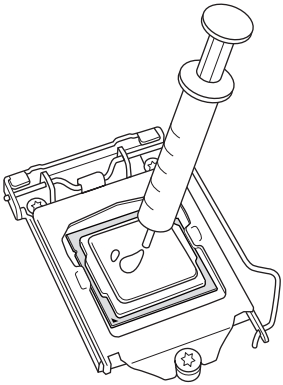
5

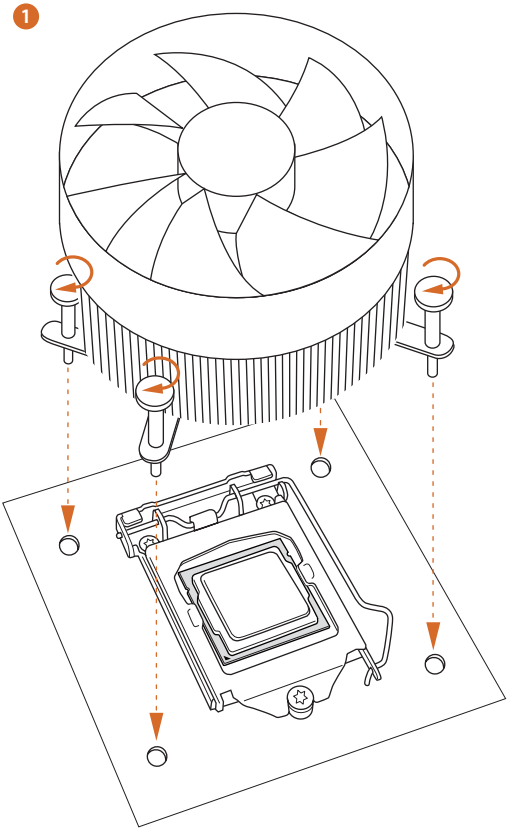


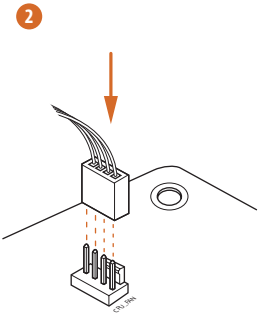
日本語

プロセッサーを取り外した場合は、カバーを保管して取り付け直してください。アフターサービスのためにマザーボードを返品する場合は、カバーを必ず取り付けてください。

2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける







日本語

2.3 メモリモジュール（DIMM）を取り付ける

このマザーボードには 4 つの 240 ピン DDR3（Double Data Rate 3、ダブルデータレート 3）DIMM スロットが装備されており、デュアルチャンネルメモリテクノロジーに対応します。

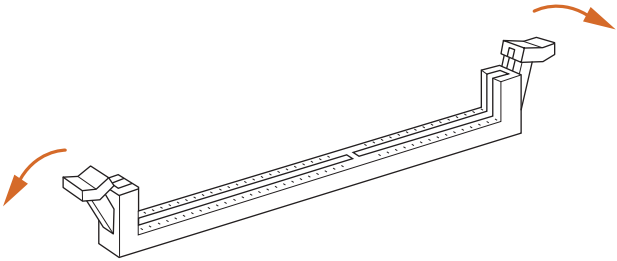
1. デュアルチャンネルメモリ設定のために、同一（同じブランド、同じ速度、同じサイズ、同じチップタイプ）の DDR3 DIMM を 1 組取り付ける必要があります。
2. 1 つまたは 3 つのメモリモジュールが取り付けられている場合は、デュアルチャンネルメモリテクノロジーを有効にできません。
3. DDR または DDR2 メモリモジュールは DDR3 スロットに取り付けることはできません。取り付けると、マザーバードと DIMM が破損することがあります。

デュアルチャンネルメモリ設定

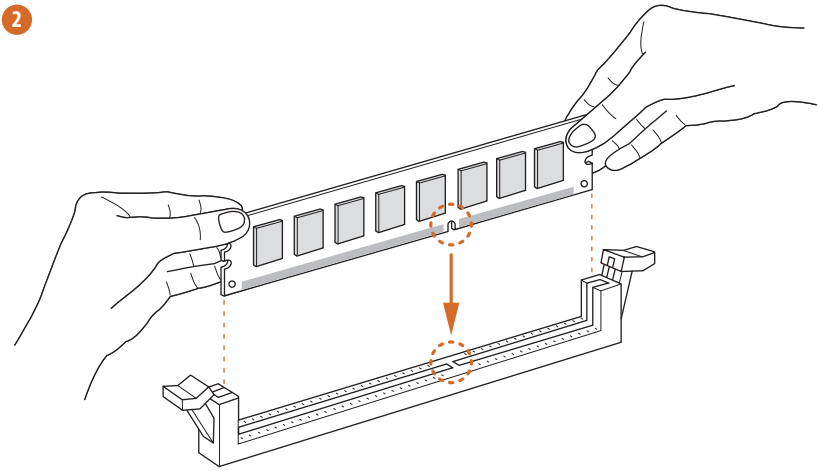
優先順位	DDR3_A1	DDR3_A2	DDR3_B1	DDR3_B2
1		実装済み		実装済み
2	実装済み		実装済み	
3	実装済み	実装済み	実装済み	実装済み

DIMM は 1 つの正しい方向にしか取り付けることができません。DIMM を間違った方向に無理に挿入すると、マザーボードと DIMM の永久的な破損につながります。

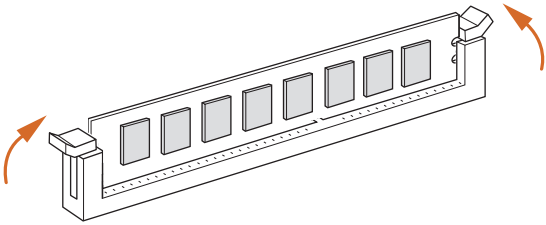
1



2



3



日本語

2.4 拡張スロット（PCI スロットと PCI Express スロット）

このマザーボードには 2 つの PCI スロットと 4 つの PCI Express スロットが装備されています。

拡張カードを取り付ける前に、電源供給が切断されていること、または、電源コードが取り外されていることを確認してください。取り付け作業を始める前に、拡張カードに添付されている文書を読んで、カード用に必要なハードウェア設定を行ってください。

PCI スロット:

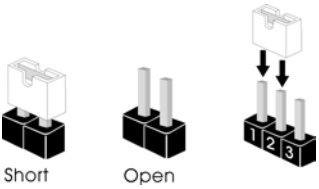
PCI1 スロットと PCI2 スロットは、32-bit PCI インターフェースの拡張カードを取り付ける際に使用します。

PCIe スロット:

PCIE1（PCIe 2.0 x1 スロット）は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。
PCIE2（PCIe 3.0 x16 スロット）は PCI Express x16 レーン幅カード向けに使用します。
PCIE3（PCIe 2.0 x1 スロット）は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。
PCIE4（PCIe 2.0 x1 スロット）は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。

2.5 ジャンパー設定

このイラストは、ジャンパーの設定方法を示しています。ジャンパーキャップがピンに被さっていると、ジャンパーは「ショート」です。ジャンパーキャップがピンに被さっていない場合には、ジャンパーは「オープン」です。この図は3ピンのジャンパーを表し、ジャンパーキャップがピン1とピン2に被さっているとき、これらのピンは「ショート」です。



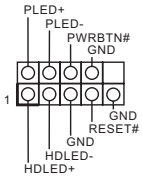
CMOSクリアジャンパー (CLRCMOS1) (p.10、No. 21参照)	1_2 デフォルト	2_3 CMOSの クリア

CLRCMOS1は、CMOSのデータをクリアすることができます。クリアして、デフォルト設定にシステムパラメーターをリセットするには、コンピューターの電源を切り、電源から電源コードを抜いてください。15秒待ってから、CLRCMOS1のピン2とピン3をジャンパーキャップを使って5秒間ショートします。ただし、BIOSをアップデートした直後に、CMOSをクリアしないでください。BIOSをアップデート後、CMOSをクリアする必要があれば、最初にシステムを起動し、それからCMOSクリアアクションを行う前にシャットダウンしてください。パスワード、日付、時間、ユーザーのデフォルトプロファイルは、CMOSの電池を取り外した場合にのみ、消去されることにご注意ください。

2.6 オンボードのヘッダーとコネクター

オンボードヘッダーとコネクターはジャンパーではありません。これらヘッダーとコネクターにはジャンパーキャップを被せないでください。ヘッダーおよびコネクターにジャンパーキャップを被せると、マザーボードに永久損傷が起こることがあります。

システムパネルヘッダー
(9ピンパネル1)
(p.10、No. 15参照)



電源スイッチを接続し、スイッチをリセットし、下記のピン割り当てに従って、シャーシのシステムステータス表示ランプをこのヘッダーにセットします。ケーブルを接続するときには、ピンの＋と－に気をつけてください。

PWRBTN(電源スイッチ)：
シャーシ前面パネルの電源スイッチに接続してください。電源スイッチを使用して、システムをオフにする方法を設定できます。

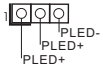
RESET(リセットスイッチ)：
シャーシ前面パネルのリセットスイッチに接続してください。コンピューターがフリーズしたり、通常の再起動を実行できない場合には、リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動します。

PLED(システム電源LED)：
シャーシ前面パネルの電源ステータスインジケーターに接続してください。システム稼働中は、LEDが点灯します。システムがS1/S3スリープ状態の場合には、LEDは点滅を続けます。システムがS4スリープ状態または電源オフ(S5)のときには、LEDはオフです。

HDLED(ハードドライブアクティビティLED)：
シャーシ前面パネルのハードドライブアクティビティLEDに接続してください。ハードドライブのデータを読み取りまたは書き込み中に、LEDはオンになります。

前面パネルデザインは、シャーシによって異なることがあります。前面パネルモジュールは、主に電源スイッチ、リセットスイッチ、電源LED、ハードドライブアクティビティLED、スピーカーなどから構成されます。シャーシの前面パネルモジュールとこのヘッダーを接続する場合には、配線の割り当てと、ピンの割り当てが正しく合致していることを確かめてください。

電源LEDヘッダー
（3ピンPLED1）
（p.10、No. 16参照）



システムの電源ステータスを表示するために、シャーシ電源LEDをこのヘッダーに接続してください。

シリアルATA3
コネクター

（SATA3_0：

（p.10、No. 9参照）

(SATA3_1:

p.10、No. 8参照）

（SATA3_2：

（p.10、No. 11参照）

（SATA3_3：

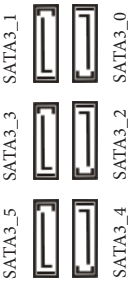
（p.10、No. 10参照）

（SATA3_4：

（p.10、No. 13参照）

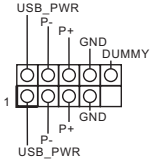
（SATA3_5：

（p.10、No. 12参照）



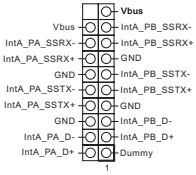
これら6つのSATA3コネクターは、最高6.0 Gb/秒のデータ転送速度で内部ストレージデバイス用のSATAデータケーブルをサポートします。

USB 2.0ヘッダー
（9ピンUSB2_3）
（p.10、No. 17参照）
（9ピンUSB4_5）
（p.10、No. 18参照）



I/Oパネルの2つのUSB 2.0ポートに加えて、このマザーボードには2つのヘッダーがあります。各USB 2.0ヘッダーは、2つのポートをサポートできます。

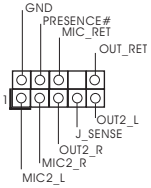
USB 3.0ヘッダー
（19ピンUSB3_4_5）
（p.10、No. 6参照）



I/Oパネルの4つのUSB 3.0ポートに加えて、このマザーボードには1つのヘッダーがあります。各USB 3.0ヘッダーは、2つのポートをサポートできます。

日本語

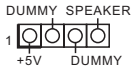
フロントパネルオーディオヘッダー
(9ピンHD_AUDIO1)
(p.10、No. 23参照)



このヘッダーは、フロントオーディオパネルにオーディオデバイスを接続するためのものです。

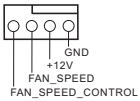
1. ハイディフィニションオーディオはジャックセンシングをサポートしていますが、正しく機能するためには、シャーシのパネルワイヤーがHDAをサポートしていることが必要です。お使いのシステムを取り付けるには、当社のマニュアルおよびシャーシのマニュアルの指示に従ってください。
2. AC'97オーディオパネルを使用する場合には、次のステップで、前面パネルオーディオヘッダーに取り付けてください。
A. Mic_IN (MIC)をMIC2_Lに接続します。
B. Audio_R (RIN)をOUT2_Rに、Audio_L (LIN)をOUT2_Lに接続します。
C. アース(GND)をアース(GND)に接続します。
D. MIC_RETとOUT_RETは、HDオーディオパネル専用です。AC'97オーディオパネルではこれらを接続する必要はありません。
E. フロントマイクを有効にするには、Realtekコントロールパネルの「FrontMic」タブで、「録音音量」を調整してください。

シャーシスピーカーヘッダー
(4ピンSPEAKER1)
(p.10、No. 20参照)



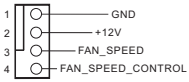
シャーシスピーカーはこのヘッダーに接続してください。

シャーシと電源ファンコネクター
(4ピンCHA_FAN1)
(p.10、No. 14参照)



ファンケーブルはファンコネクターに接続し、黒線とアースピンを合わせてください。

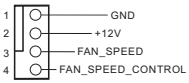
(4ピンCHA_FAN2)
(p.10、No. 7参照)



(3ピンPWR_FAN1)
(p.10、No. 1参照)

日本語

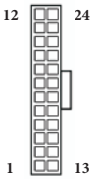
CPUファンコネクター
（4ピンCPU_FAN1）
（p.10、No. 24参照）



（3ピンCPU_FAN2）
（p.10、No. 26参照）

このマザーボードは4ピンCPUファン（静音ファン）コネクターを提供します。3ピンのCPUファンを接続する場合には、ピン1-3に接続してください。

ATX電源コネクター
（24ピンATXPWR1）
（p.10、No. 5参照）

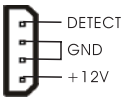


このマザーボードは24ピンATX電源コネクターを提供します。20ピンのATX電源を使用するには、ピン1と13番に合わせて接続してください。

ATX 12V電源コネクター
（8ピンATX12V1）
（p.10、No. 2参照）

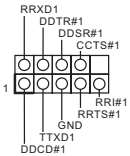
このマザーボードは8ピンATX12V電源コネクターを提供します。4ピンのATX電源を使用するには、ピン1と5番に合わせて接続してください。

PCIe 電源コネクター
（4 ピン PCIE_PWR1）
（p.10、No. 25参照）



4 枚以上のグラフィックスカードを取り付ける場合は、3 ピンモレックス電源ケーブルをこのコネクタに接続してください。

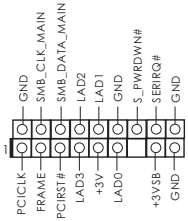
シリアルポートヘッダー
（9ピンCOM1）
（p.10、No. 22参照）



このCOM1ヘッダーはシリアルポートモジュールをサポートします。

日本語

TPMヘッダー
（17ピンTPMS1）
（p.10、No. 19参照）



このコネクターはトラステッドプラットフォームモジュール（TPM）システムをサポートし、鍵、デジタル証明書、パスワード、データを安全に保管することができます。TPMシステムはまた、ネットワークセキュリティを高め、デジタル証明書を保護し、プラットフォームの完全性を保証します。

第 3 章 ソフトウェアとユーティリティの操作

3.1 ドライバを取り付ける

マザーボードに付属しているサポート CD には、必要なドライバ、および、マザーボードの機能を強化する便利なユーティリティが含まれています。

サポート CD を実行する

サポート CD を使用するために、CD を CD-ROM ドライブに挿入します。コンピュータで「AUTORUN（自動実行）」が有効になっている場合は、CD がメインメニューを自動的に表示します。メインメニューが自動的に表示されない場合は、サポート CD 内のファイル「ASRSETUP.EXE」をダブルクリックしてメニューを表示します。

ドライバメニュー

システムと互換性のあるドライバが自動的に検出されて、サポート CD ドライバページに一覧表示されます。**Install All（すべてインストールする）**をクリックするか、または、上から下への順番で必要なドライバをインストールしてください。このようにインストールすることで、ドライバが正しく動作するようにします。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、マザーボードが対応するアプリケーションソフトウェアが表示されます。特定の項目をクリックして、インストールウィザードに従ってインストールします。

Windows 7 との互換性を向上させるために、Microsoft が提供する次のホットフィックスをダウンロードしてインストールしてください。
「KB2720599」:http://support.microsoft.com/kb/2720599/en-us

日本語

3.2 A-Tuning

A-Tuning は、新しいインターフェース用の多目的ソフトウェアです。XFast RAM、Dehumidifier (除湿)、Good Night LED (おやすみ LED)、FAN-Tastic Tuning (ファン調整)、OC Tweaker (OC 調整) など、新機能や拡張ユーティリティを搭載しています。

3.2.1 A-Tuning のインストール

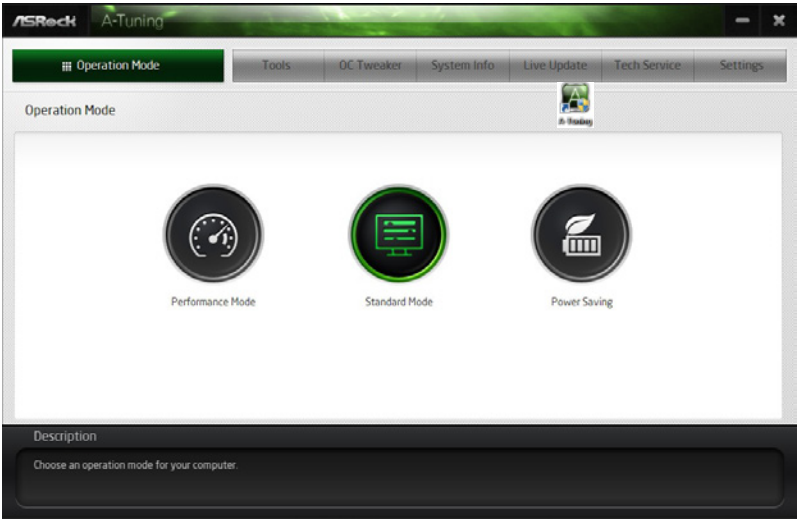
ASRock の付属の CD からオールインワン ドライバーをシステムにインストールすると、A-Tuning も自動的にインストールされます。インストール後、デスクトップに「A-Tuning」のアイコンが表示されます。「A-Tuning」 アイコンをダブルクリックすると、A-Tuning のメインメニューがポップアップ表示されます。

3.2.2 A-Tuning の使用

A-Tuning のメインメニューには次の 6 つのセクションがあります:Operation Mode (操作モード)、Tools(ツール)、OC Tweaker(OC 調整)、System Info(システム情報)、Live Update(ライブ更新)、および、Tech Service(テクニカルサービス)。

Operation Mode (操作モード)

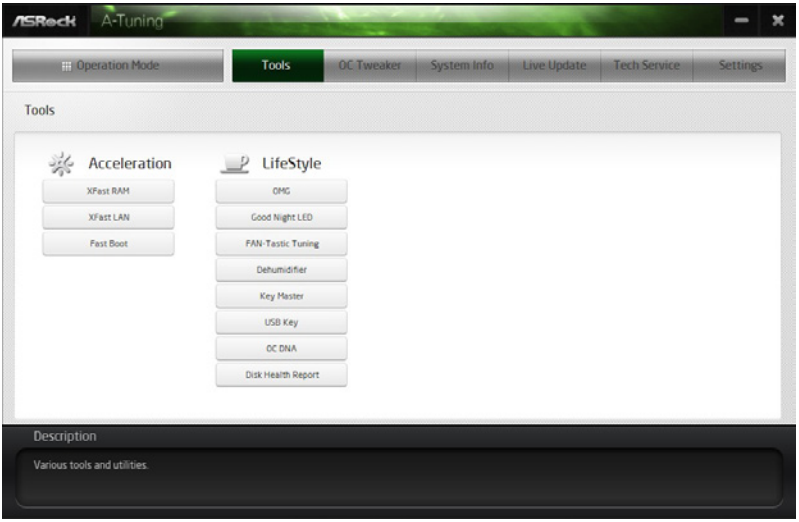
コンピューターの操作モードを選択します。



日本語

Tools (ツール)

さまざまなツールやユーティリティ。



XFast RAM

システムのパフォーマンスを向上し、および HDD や SDD の耐性を高めます！隠しパーティションを作成し、RAM ドライブに格納するファイルを割り当ててください。

XFast LAN

インターネット接続の速度を高速化します。特定のモードを選択して、指定したプログラムの優先順位を最高に設定します。

Fast Boot (高速ブート)

コンピューターのブート時間を最小化します。Ultra Fast（超高速モード）に対応するのは Windows 8.1/8 だけです。外部グラフィックカードを使用している場合は、VBIOS が UEFI GOP に対応しなければなりません。

OMG

インターネットアクセスをその他のユーザーに許可する開始時間と終了時間をスケジュールします。時間表上で、インターネットを使用付加にする時間帯に X マークを付けます。

Good Night LED (おやすみ LED)

システムがオンの場合は、電源 LED と HDD LED をオフにします。システムがスタンバイモードやハイバネーション モードになると、電源 LED とキーボード LED を自動的にオフにします。

FAN-Tastic Tuning (ファン調整)

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

Dehumidifier (除湿)

湿気によるマザーボードへの損傷を防ぎます。この機能を有効にした後、コンピューターの電源が入るまでの時間（長さ）と、除湿プロセスの時間（長さ）を設定します。

USB キー

USB キーを差し込むと、コンピュータが Windows に自動的にログインします。

OC DNA

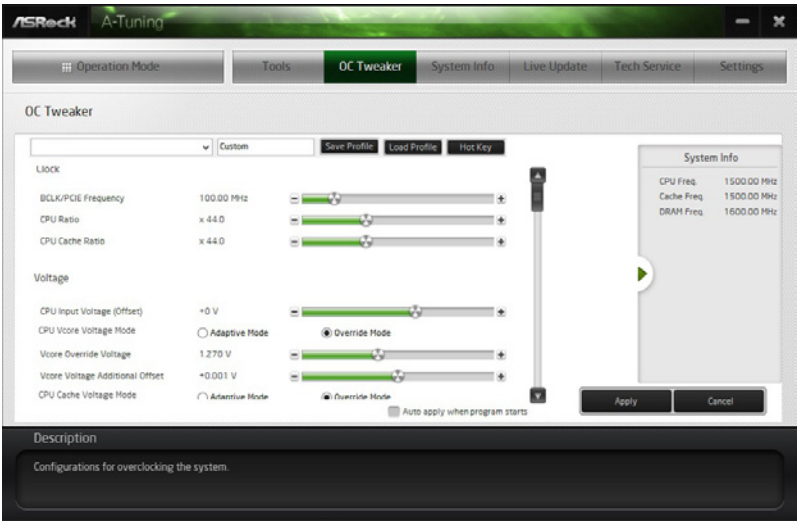
OC DNA は、オーバークロック設定をプロファイルとして保存する独自のソフトウェアです。そして、このオーバークロック設定プロファイルをお友だちに送信できます。

Disk Health Report（ディスクヘルスリポート）

Disk Health Report（ディスクヘルスリポート）は、ハードディスクヘルス監視ユーティリティです。ハードディスクモデル、シリアル番号、ファームウェア、電源オンカウント、電源オン時間、S.M.A.R.T. 値、現在の温度など、詳しい HDD 情報が表示されます。HDD、SSD、および光学ディスクドライブすべてに対応します。ヘルスステータスブロックに Good（良好）（緑色）、Caution（注意）（黄色）、または、Bad（不良）（赤色）が表示されます。ヘルスステータスアイコンをクリックして、アラートをトリガするための設定を設定します。

OC Tweaker (OC 調整)

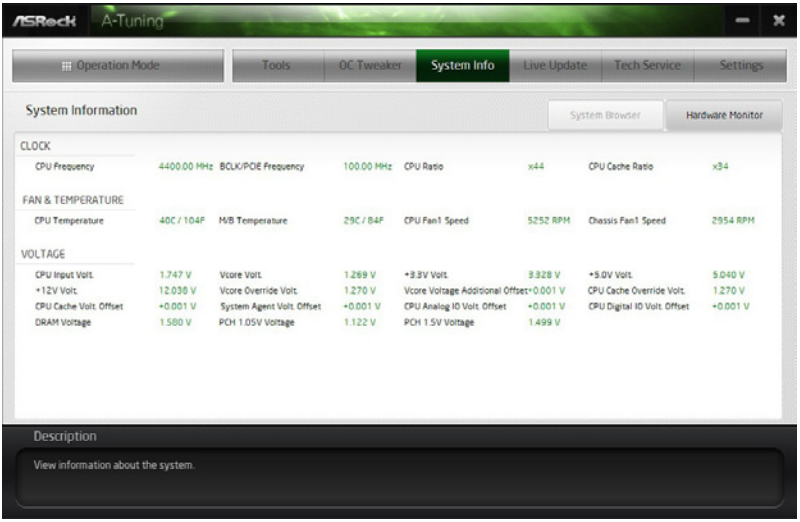
システムのオーバークロック設定。



System Info (システム情報)

システムに関する情報を表示します。

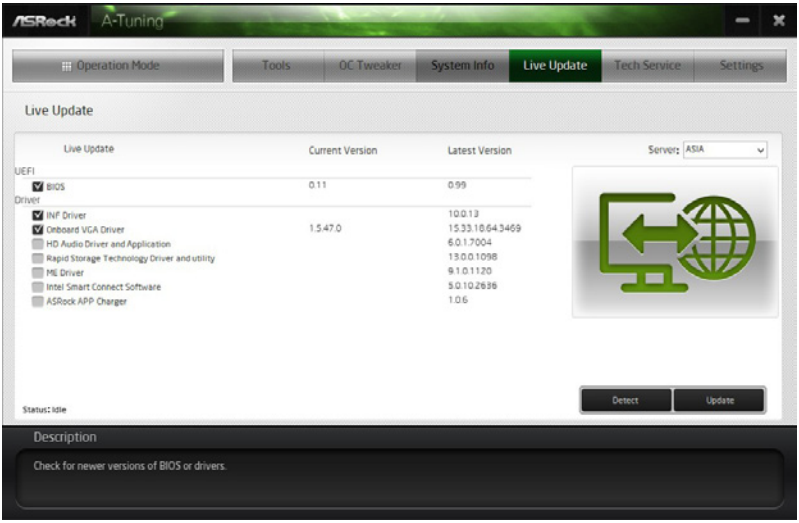
*モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。



日本語

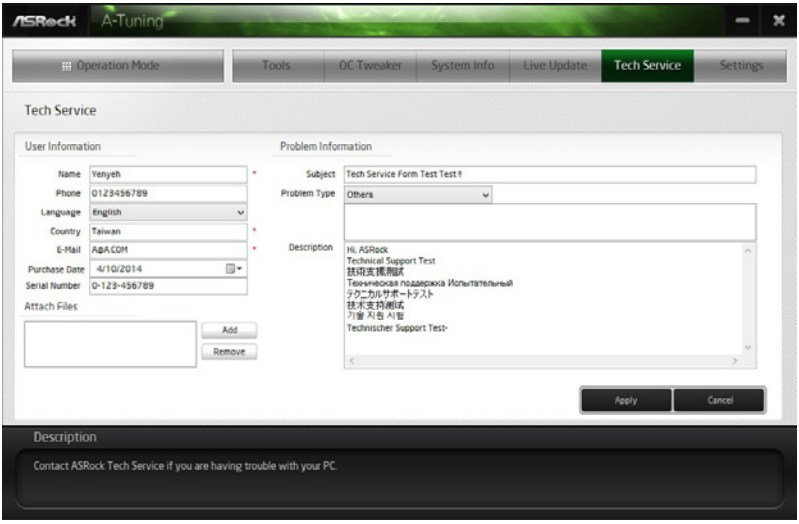
Live Update（ライブ更新）

BIOS またはドライバの新しいバージョンを確認します。



Tech Service (テクニカルサービス)

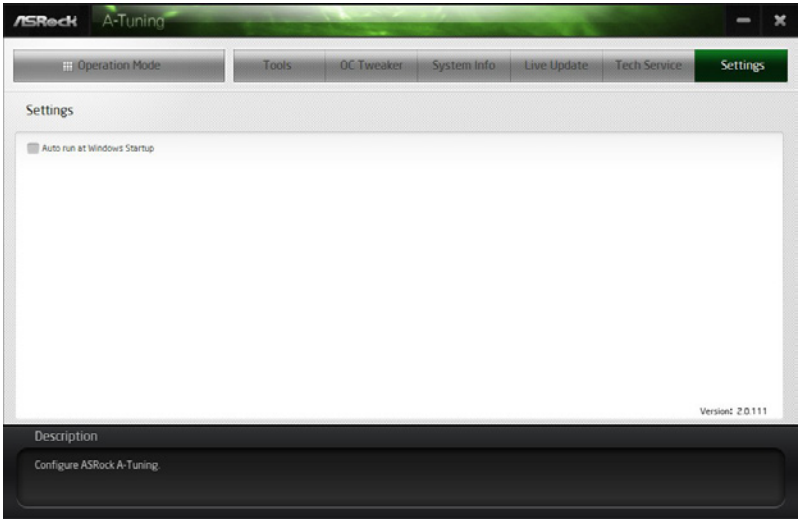
コンピュータに問題がある場合は、技術サポートまでご連絡ください。問題の詳細とともに、ご連絡先をお伝えください。



日本語

Settings（設定）

ASRock A-Tuning を設定します。Windows オペレーションシステムを起動する際に A-Tuning を始動したい場合は、「Auto run at Windows Startup（Windows 起動時に自動実行）」をクリックして選択します。



日本語

3.3 Intel® Rapid Start Technology (Intel® ラピッド・スタート・テクノロジーが

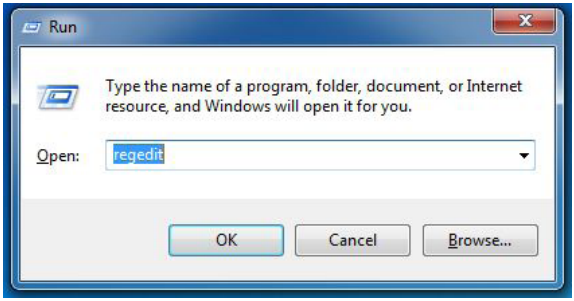
Intel® Rapid Start Technology (Intel® ラピッド・スタート・テクノロジーが)、最も深いスリープ状態からでもデバイスを素早く起動させるので、時間と消費電力を節約できます。PC がスリープモードの場合に想定外の停電が発生しても、システムは作業状態に戻るので安心です。

3.3.1 システム要件

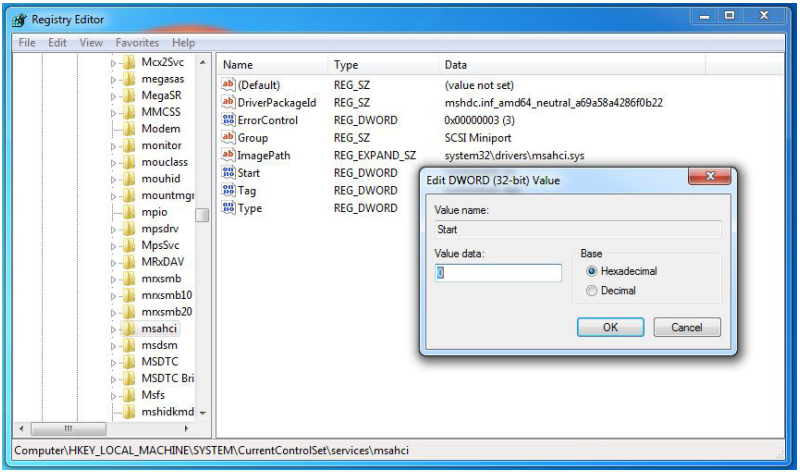
- マザーボードがこの機能に対応することを確認してください。
- オペレーティングシステム:Microsoft Windows 8.1/8/7(32-bit エディションまたは 64-bit エディション)
- SATA モードを AHCI に設定します。Windows 8.1/8/7 が IDE モードで既にインストールされている場合は、SATA モードを AHCI に直接変更すると、起動中に Windows 8/7 がクラッシュすることがあります。システムが AHCI モードになっていない場合は、次の指示に従ってください。

特定のリスクがあることにご注意ください。データの損失を防止するために、操作の前に重要なデータをバックアップしてください。

1. Windows 8/7 で **Win** と **R** を同時に押して、ワードボックスに「Regedit」と入力し、**OK** をクリックします。



2. Windows Registry Editor(Windows レジストリエディタ)で **HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\msahci** を開きます。値 **Start**(スタート) をダブルクリックして、値を **3** から **0** に変更します。**OK** をクリックします。



3. Registry Editor（レジストリエディタ）ウィンドウを閉じて、コンピュータを再起動します。
4. **F2** を押して BIOS を開き、次に、**Advanced -> Storage Configuration（詳細 -> ストレージ設定）**の順に移動して、SATA モードを **AHCI** に変更します。**F10** を押して変更を保存し、終了します。
5. Windows 8/7 を開きます。Windows が新しいデバイスを発見して、AHCI ドライバを自動的にインストールします。

3.3.2 セットアップガイド

Rapid Start（ラピッド・スタート）を設定する

手順 1

Start（スタート）-> All Programs（すべてのプログラム）-> ASRock Utility（ASRock ユーティリティ）の順に進んで、ASRock Rapid Start（ASRock ラピッド・スタート）ユーティリティを実行します。

手順 2

システムにハードドライブが 2 つ以上ある場合は、1 つ選択して、次に、非表示にしたいパーティション用に **Partition Size（パーティションサイズ）**を選択し、**Create（作成）**をクリックしてください。設定に従って、システムが非表示パーティションを自動的に作成します。システムに SSD がインストールされている場合は、SSD 上にパーティションを作成することを推奨します。

日本語

手順 3

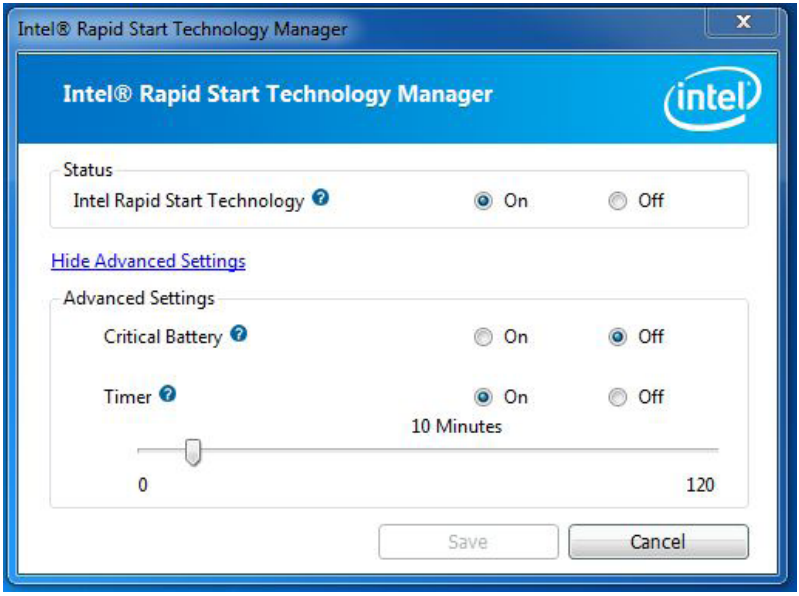
セットアップ後に再起動するように指示するプロンプトが表示された場合は、**Yes**（はい）をクリックして再起動します。

手順 4

Windows システムトレイにある Intel® Rapid Start Technology Manager（Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー・マネージャ）アイコン をダブルクリックします。

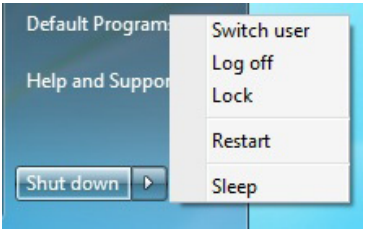
手順 5

Rapid Start（ラピッド・スタート）がオンになっていることを確認してください。スライダーをドラッグして時間を設定します。例えば、タイマーの値を 10 分に設定すると、システムは、スリープ状態になってから 10 分経過すると Rapid Start（ラピッド・スタート）モードを有効にします。タイマーを 0 分に設定すると、システムは、スリープ状態になると直ぐに Rapid Start（ラピッド・スタート）モードを有効にします。



Rapid Start（ラピッド・スタート）を使用する

1. 現在実行中のアプリケーションやファイルを終了せずにコンピュータをシャットダウンできます。Windows Start（スタート）-> シャットダウンの横にある矢印の順にクリックして、次に、**Sleep（スリープ）**をクリックします。



2. Windows システムがスリープ状態になります。

日本語

3. Rapid Start Technology Manager（ラピッド・スタート・テクノロジー・マネージャ）内の設定に従って、スリープ状態になってから特定の時間が経過すると、システムが自動的に起動して Rapid Start（ラピッド・スタート）モードを有効にします。Rapid Start（ラピッド・スタート）モードでは、コンピュータの電源を切断できます。コンピュータの電源を切断しても、スリープ状態になる前に実行していたプログラムやファイルのデータは失われません。

4. コンピュータを引き続き使用したい場合は、電源ボタンを押します。電源ボタンを押すと、システムが素早く Windows に戻り、スリープ状態になる前に使用していたプログラムやファイルに直ぐにアクセスできます。

3.4 Intel® Smart Connect Technology (Intel® スマート・コネクト・テクノロジー)

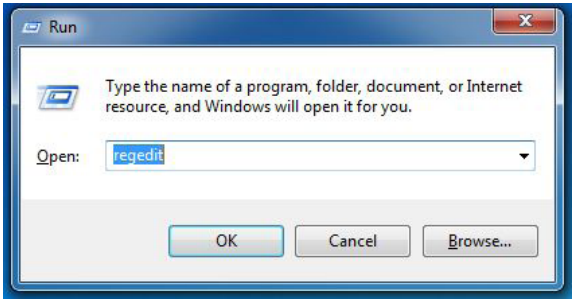
Intel® Smart Connect Technology (Intel® スマート・コネクト・テクノロジー)は、コンピュータを Windows® スリープ状態から定期的に再起動して、電子メールやソーシャルネットワーキングアプリケーションを更新します。Intel® Smart Connect Technology(Intel® スマート・コネクト・テクノロジー)を使用すれば、待ち時間を短縮して、コンテンツを常に最新状態に維持できます。

3.4.1 システム要件

- マザーボードがこの機能に対応することを確認してください。
- オペレーティングシステム:Microsoft Windows 8.1/8/7(32-bit エディションまたは 64-bit エディション)
- SATA モードを AHCI に設定します。Windows 8.1/8/7 が IDE モードで既にインストールされている場合は、SATA モードを AHCI に直接変更すると、起動中に Windows 8/7 がクラッシュすることがあります。システムが AHCI モードになっていない場合は、次の指示に従ってください。

特定のリスクがあることにご注意ください。データの損失を防止するために、操作の前に重要なデータをバックアップしてください。

1. Windows 8/7 で **Win** と **R** を同時に押して、ワードボックスに「Regedit」と入力し、**OK** をクリックします。



2. Windows Registry Editor(Windows レジストリエディタ)で **HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\services\msahci** を開きます。値 **Start**(**スタート**)をダブルクリックして、値を **3** から **0** に変更します。**OK** をクリックします。

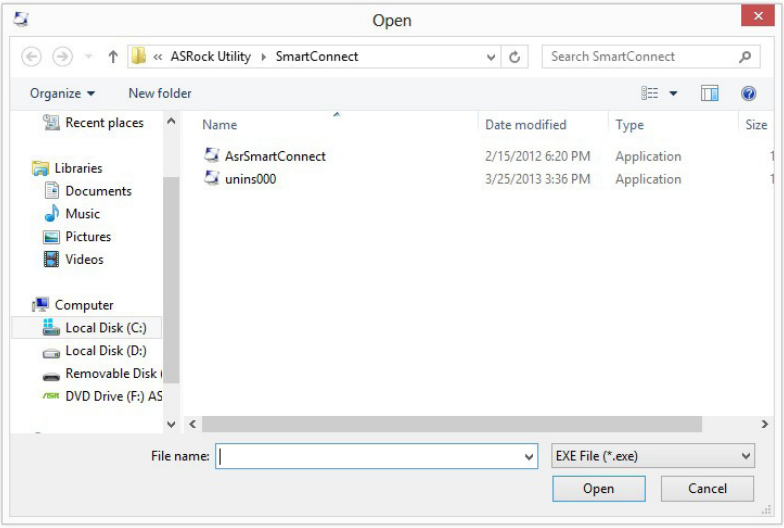
日本語

3.4.2 セットアップガイド

ASRock Smart Connect Utility（ASRock スマート・コネクト・ユーティリティ）をインストールする

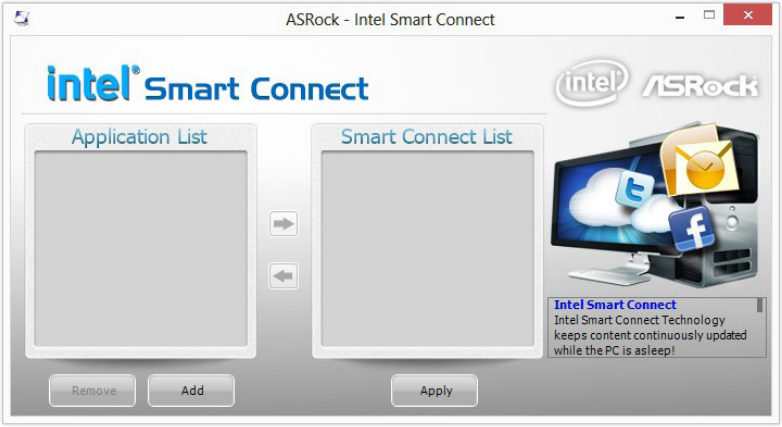
手順 1

サポート CD の次のパスからフォルダにある **ASRock Smart Connect Utility（ASRock スマート・コネクト・ユーティリティ）**をインストールします:\ **ASRock Utility > Smart Connect（ASRock ユーティリティ > スマート・コネクト）**。



手順 2

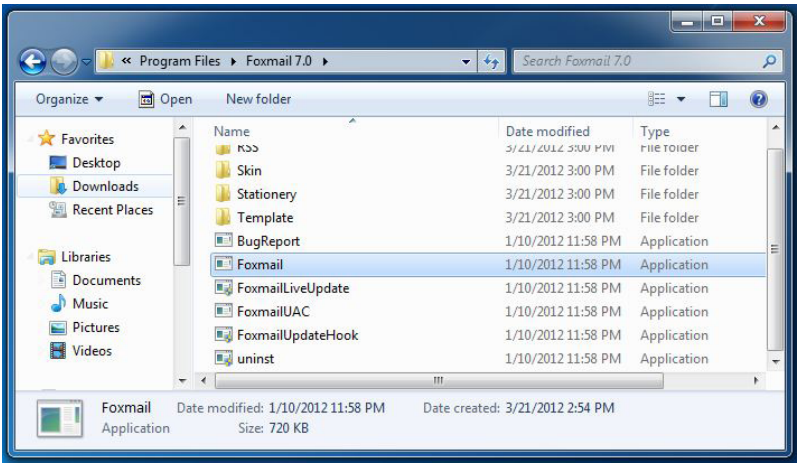
インストールすると、ASRock Smart Connect（ASRock スマート・コネクト）をデスクトップから実行したり、または、Windows **Start（スタート）** -> **All Programs（すべてのプログラム）** -> **ASRock Utility（ASRock ユーティリティ）**の順に進んで実行できます。



日本語

手順 3

Add(追加)ボタンをクリックします。例として Foxmail の場合を説明します。
Foxmail をアプリケーション一覧に追加します。



手順 4

Application List(アプリケーション一覧)から Foxmail を選択し、次に右向きの矢印をクリックしてこのアプリケーションを **Smart Connect List**(スマート・コネクト一覧)に追加します。

手順 5

Apply(適用) をクリックして Smart Connect(スマート・コネクト)を有効します。

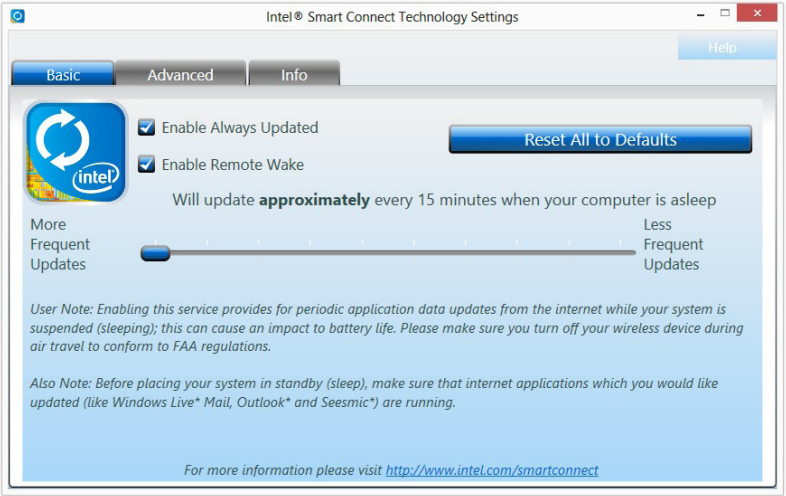
日本語

手順 6

Windows システムトレイにある Intel® Smart Connect Technology Manager（Intel® スマート・コネクト・テクノロジー・マネージャ）をダブルクリックします。

手順 7

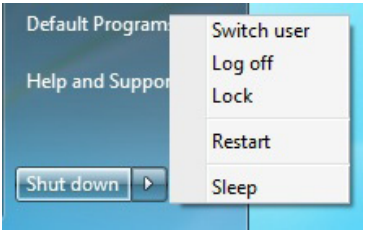
スライダーをドラッグして、システムをネットワークに接続して更新をダウンロードする頻度を設定します。期間を短くすると頻繁に更新が提供されますが、消費電力が増えることがあります。



Smart Connect（スマート・コネクト）を使用する

1. システムがスリープ状態で実行されている場合でも、インターネットに接続して更新を受信したいアプリケーションを維持します。例えば、Foxmail は Foxmail を実行状態に維持します。

2. Windows Start（スタート）-> シャットダウンの横にある矢印の順にクリックして、次に、**Sleep（スリープ）**をクリックします。



3. Windows システムがスリープ状態になります。

4. システムが定期的にスリープ状態から再起動して、Foxmail の更新を開始します。画面には何も表示されないので、コンピュータは消費電力を最小水準に維持できます。更新が完了すると、システムは自動的にスリープ状態に戻ります。

5. システムを再起動すると、スリープ状態中に受信した新しいメールが既に更新されているので、Foxmail で読むことができます。

3.5 ASRock Cloud

あなたのモバイル機器から、自由にPCへアクセス

遠く離れた場所にあるコンピュータにある特定のファイルが突然必要になったことはありますか?ASRock Cloud には、お使いのコンピュータがオフモードの場合でも、遠隔制御が可能ないくつかのテクノロジーとソフトウェアソリューションが採用されています。***Intel®*** LAN チップが搭載された ASRock マザーボードでは、ASRock Cloud でスマートフォンやタブレットなどのセカンダリデバイスを使い、インターネットを経由してお使いのコンピュータを遠隔操作で起動できます。***Orbweb.ME Professional*** を使ってコンピュータを起動して制御、またはコンピュータを起動して、その他の希望するリモートデスクトップアプリケーションを使用できます。このマザーボードはオンボード Intel® LAN でリモートウェイクアップに対応します。世界中のどこにいてもお使いの PC に接続できます。スマートフォン、タブレット、または、コンピュータからお使いの PC の電源のオン/ オフを切り替えたり、遠隔監視および遠隔制御ができます。

**ASRock Cloudはwindows8.1に対応しています*

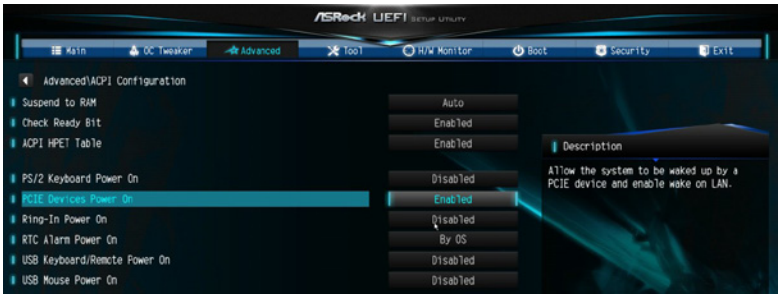
日本語

3.5.1 Intel® Remote Wake Technology (Intel® リモート・ウェイク・テクノロジー)

Intel® リモート・ウェイク・テクノロジーを使えば、ホームコンピュータをスリープ状態から起動して遠隔制御できます。

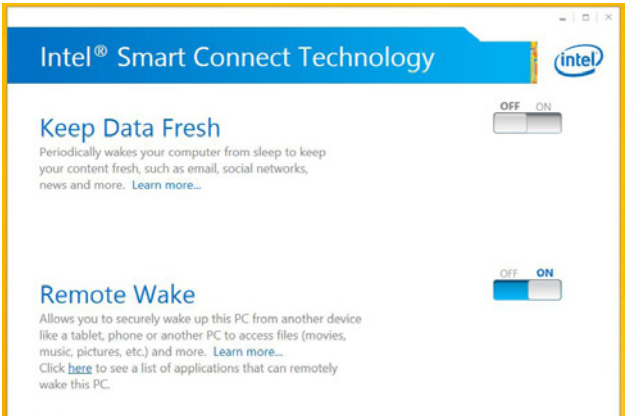
この機能を設定する前に、ホストコンピュータについて次の事項を確認してください:

- *UEFI SETUP UTILITY*(*UEFI セットアップユーティリティ*) > *Advanced*(*詳細*) > *ACPI Configuration*(*ACPI 設定*) で「PCIE Devices Power On(PCIE デバイス電源オン)」が有効になっていることを確認してください。



**UEFI 画面は参考用です。実際の画面はモデルによって異なることがあります。*

- 「Intel® Smart Connect Technology Manager(Intel® スマート・コネクト・テクノロジー・マネージャ)」で「Remote Wake(リモートウェイク)」が有効になっていることを確認してください。



**Intel リモート・ウェイクには Windows 8 または Windows 8 64bit OS で対応します。*

日本語

3.5.2 Orbweb.ME Professional を設定して使用する

Orbweb.ME Professional はリモート制御ソフトウェアです。Orbweb.ME Professional を使用すれば、Orbweb.ME Professional ホストソフトウェアがインストールされたリモートホストに容易にアクセスし制御できます。

Orbweb.ME Professional をホストコンピュータにインストールする

Orbweb.ME Professional ホストソフトウェアはサポート CD に含まれています。または、http://orbweb.me からダウンロードしてください。

手順 1

Orbweb.ME Professional インストーラパッケージファイルをクリックしてインストールを開始します。

手順 2

画面上の指示に従ってインストールを完了します。

手順 3

インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

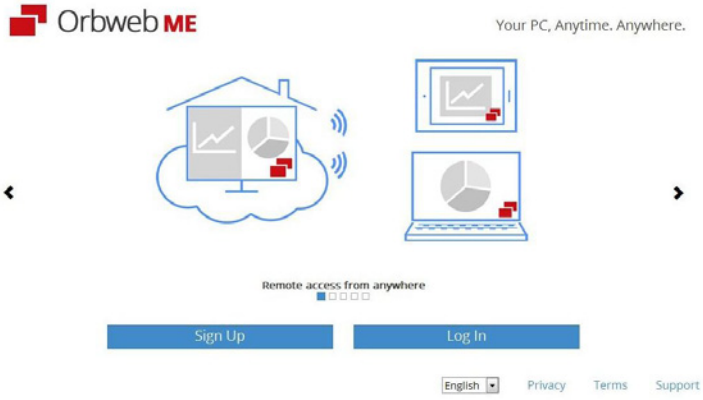
ホストコンピュータ登録にサインアップする

手順 1

デスクトップ上の Orbweb.ME Professional アイコン をダブルクリックします。

手順 2

Orbweb.ME ポータルログインページで、**Sign Up**(サインアップ)をクリックして Orbweb.ME アカウントを作成し、ホストコンピュータに名前を付けます。



手順 3

確認の電子メールが届きます。電子メールに記載されている手順に従ってアカウントを確認します。
アカウントを確認後http://orbweb.me で、ウェブブラウザを経由してお使いの PC にアクセスできます。
Account Verified（確認済みアカウント）ページで、**Go to My Computers（マイコンピュータへ移動する）**をクリックすると、Orbweb.ME ポータルページがクライアントとして表示されます。

ホストコンピュータ上で共有フォルダをセットアップする

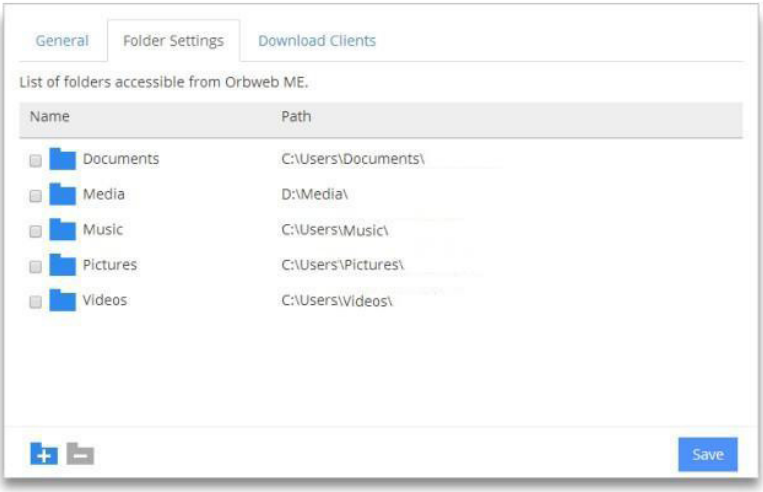
手順 1

デスクトップ上の Orbweb.ME Professional アイコン をダブルクリックします。

または、ホストコンピュータのサインアップを完了したばかりの場合は、画面内で **Configure this computer（このコンピュータを設定する）**をクリックして開始します。

手順 2

Folder Settings（フォルダ設定）タブをクリックすると、デフォルトの共有フォルダが表示されます。
フォルダを追加するには をクリックします。フォルダを選択して Orbweb.ME に追加します。次に、**Save（保存）**をクリックします。



Xplorer を使って、クライアントデバイスから、ホストコンピュータ上の共有フォルダ内にある文書に遠隔操作でアクセスできます。

クライアントデバイスからのリモートアクセス

リモートデスクトップ機能と Xplorer 機能を使用するには、Java の最新バージョンをインストールする必要があります。

リモートウェイクアップを使用する

リモートウェイクアップを使って、クライアントデバイスから遠隔操作でホストコンピュータをスリープ状態にしたり起動できます。

デュアル LAN ポートが装備されたマザーボードを使用する場合は、リモートウェイクアップ機能を使用するために LAN ポートの 1 つを無効にしてください。LAN ポートの 1 つを無効にするには、Control Panel（コントロールパネル）> Network and Sharing Center（ネットワークと共有センター）> Manage Network Connections（ネットワーク接続を管理する）の順に進んで、Local Area Connections（ローカルエリア接続）を右クリックし、Disable（無効）を選択します。

Windows PC ユーザー向け:

手順 1

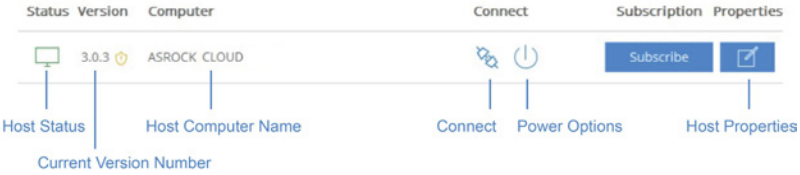
Orbweb.ME ポータルログインページを開きます：**http://orbweb.me**

手順 2

Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

指定したコンピュータ名に従って、一覧からホストコンピュータを見つけます。



オンライン / 緑色　接続準備ができました / 青色　オンライン / 青色

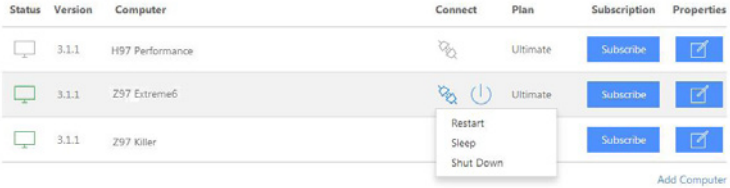
オフライン / 灰色　接続できません / 灰色　ウェイクできます / 赤色

ウェイク可能モード

日本語

手順 4

をクリックすると電源オプションが表示されます。**Restart（再起動）**、**Sleep（スリープ）**、または、**Shut Down（シャットダウン）**をクリックして選択します。



オプションから **Restart（再起動）**を選択してホストコンピュータを遠隔操作で再起動します。

ホストデバイスが WOW（Wake-On-Wan、ウェイク・オン・ワン）に対応する場合は、**Sleep（スリープ）**を選択して、ホストコンピュータをスリープ（S3/S4）状態にできます。Status（ステータス）欄のホスト状態がオフラインで、起動準備ができている 場合は、電源オプションにウェイク可能 が表示されます。
コンピュータを起動する場合は をクリックします。

ホストデバイスが WOW に対応しない場合は、ホストステータスアイコンがオフラインになり、電源オプションアイコンが非表示になります。電源オプションアイコンをオンラインに戻すには、コンピュータを物理的に起動する必要があります。

Shut Down（シャットダウン）を選択して、コンピュータを遠隔操作でシャットダウンできます。ただし、Intel® リモート・ウェイク・テクノロジーはシャットダウン（S5）からのリモートウェイクアップには対応しません。
ホストコンピュータを物理的にオンにしてください。

iOS または Android モバイルデバイスのユーザー向け:

App ストア（iOS）または Play ストア（Android）から「Orbweb.ME Professional」アプリをダウンロードしてインストールします。

手順 1

「Orbweb.ME Professional」アプリアイコン をタップして起動します。

手順 2

Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

Power Options（電源オプション）アイコン をタップすると、電源オプションが表示されます。

Restart(再起動)、**Sleep**(スリープ)、または、**Shut Down**(シャットダウン)をタップして選択します。

1. *ホストデバイスが WOW に対応しない場合は、ホストステータスアイコンがオフラインになり、電源オプションアイコンが非表示になります。電源オプションアイコンをオンラインに戻すには、コンピュータを物理的に起動する必要があります。*
2. *Intel® リモート・ウェイク・テクノロジーはシャットダウン(S5)からのリモートウェイクアップには対応しません。Shutdown(シャットダウン)を押して、ホストコンピュータを遠隔操作でオフにする場合は、ホストコンピュータを物理的にオンにしてください。*

リモートデスクトップを使用する

リモートデスクトップを使って、クライアントデバイスからホストコンピュータに遠隔操作でアクセスできます。

Windows PC ユーザー向け:

手順 1

Orbweb.ME ポータルログインページを開きます:**http://orbweb.me**

手順 2

Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

Connect(接続)ボタン をクリックします。

手順 4

Remote Desktop(リモートデスクトップ)をクリックします。

Remote Desktop Connection(リモートデスクトップ接続)ダイアローグが表示される場合は、**Connect**(接続)をクリックして続行します。

手順 5

Windows パスワードを入力してログインします。ホストコンピュータのデスクトップが表示されます。

Orbweb.ME Professional の使用方法に関する詳しい説明については、Orbweb.ME Professional のユーザーマニュアルを参照してください。

iOS または Android モバイルデバイスのユーザー向け:

App ストア（iOS）または Play ストア（Android）から「Orbweb.ME Professional」アプリをダウンロードしてインストールします。

手順 1

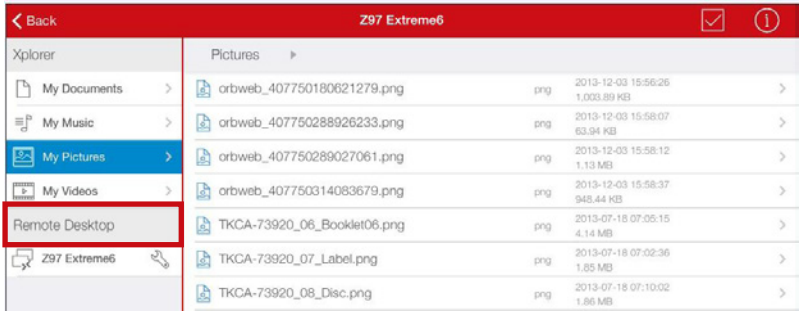
「Orbweb.ME Professional」アプリアイコン をタップして起動します。

手順 2

Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

Remote Desktop（リモートデスクトップ）セクションで、アクセスしたいホストコンピュータ名をタップします。



手順 4

Windows パスワードを入力してログインします。ホストコンピュータのデスクトップが表示されます。

日本語

Xplorer を使用する

Xplorer を使って、クライアントデバイスからホストコンピュータにある文書に遠隔操作でアクセスできます。

Windows PC ユーザー向け:

手順 1

Orbweb.ME ポータルログインページを開きます：**http://orbweb.me**

手順 2

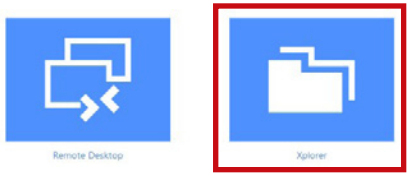
Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

Connect（接続）ボタン をクリックします。

手順 4

Xplorerをクリックします。



手順 5

ルートディレクトリが表示されます。フォルダ名をクリックしてフォルダを開きます。

Name	Type	Size	Date
Documents	Folder		2014-03-24 21:50:41
Music	Folder		2014-03-24 21:37:03
Pictures	Folder		2014-03-24 21:37:03
Videos	Folder		2014-03-24 21:37:03

手順 6

ファイル名をクリックしてファイルのプレビューを表示します。

選択したファイルを削除、名前の変更、移動、およびコピーすることもできます。Xplorer の使用方法に関する詳しい説明については、Orbweb.ME Professional のユーザーマニュアルを参照してください。

iOS または Android モバイルデバイスのユーザー向け:

App ストア(iOS)または Play ストア(Android)から「Orbweb.ME Professional」アプリをダウンロードしてインストールします。

手順 1

「Orbweb.ME Professional」アプリアイコン をタップして起動します。

手順 2

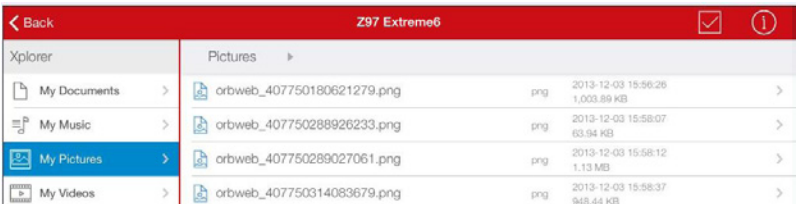
Orbweb.ME アカウントとパスワードを使ってログインします。

手順 3

Connect(接続)ボタン をクリックします。

手順 4

Xplorer セクションでフォルダ名をタップすると、このフォルダ内にあるファイルが表示されます。



ファイル名をタップしてファイルのプレビューを表示します。

選択したファイルを削除、名前の変更、移動、およびコピーすることもできます。Xplorer の使用方法に関する詳しい説明については、Orbweb.ME Professional のユーザーマニュアルを参照してください。

チュートリアルビデオ

3.6 ASRock APP ショップ

ASRock APP ショップは ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。数回クリックするだけで、さまざまなアプリやサポートユーティリティを素早く簡単にインストールしてシステムを最適化し、マザーボードを最新の状態に維持できます。

デスクトップ上の をダブルクリックして ASRock APP ショップユーティリティにアクセスします。

*ASRock APP ショップからアプリをダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。

3.6.1 UI Overview（UI 概要）

Category Panel（カテゴリパネル）:カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに関係する情報が表示されます。

Information Panel（情報パネル）:中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに関係するタスクを実行できます。

Hot News（ホットニュース）:ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

3.6.2 Apps（アプリ）

「Apps（アプリ）」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順 1

インストールしたいアプリを検索します。

最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

Free - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free（無料）」と表示されます。

Installed - 緑色の「Installed（インストール済み）」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順 2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

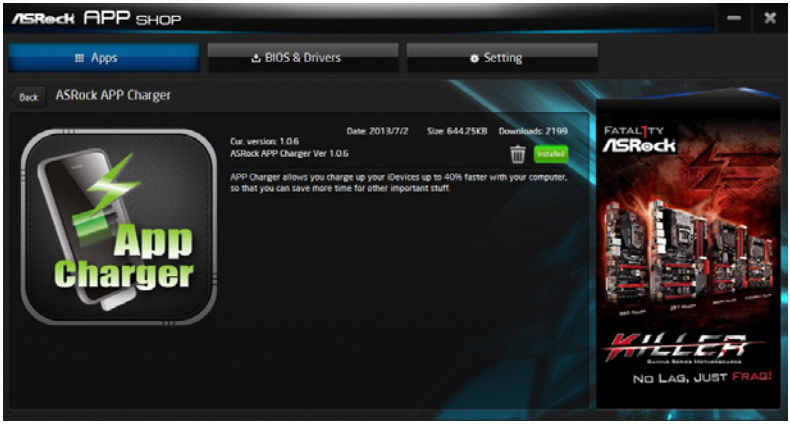
日本語

手順 3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン Free をクリックしてダウンロードを開始します。

手順 4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed（インストール済み）」アイコンが表示されます。



アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン をクリックします。
*アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

日本語

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version（新しいバージョン）」 New Version のマークが表示されます。

手順 1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

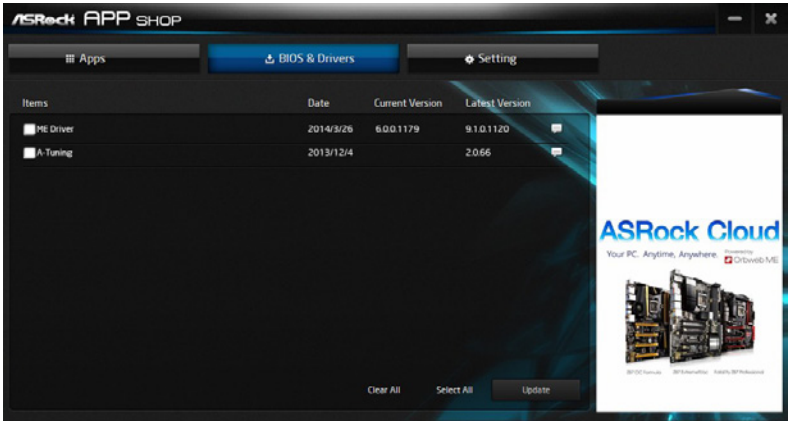
黄色のアイコン New Version をクリックしてアップグレードを開始します。

日本語

3.6.3 BIOS & Drivers（BIOS とドライバ）

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers（BIOS とドライバ）」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。速やかにすべて更新してください。



手順 1

更新する前に項目情報を確認してください。 をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

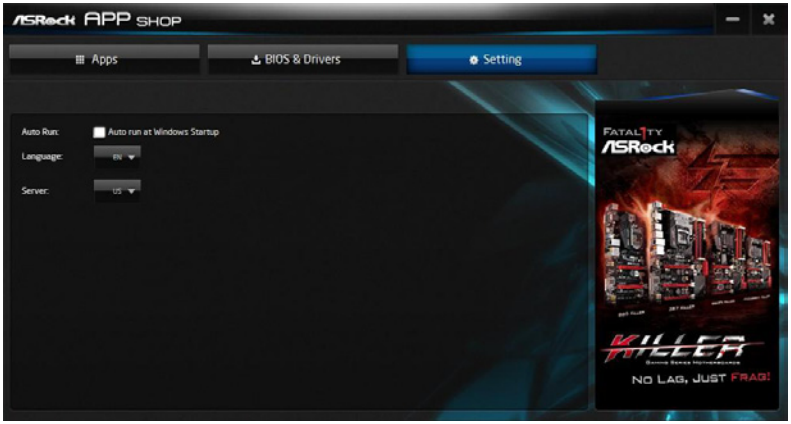
更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順 3

Update（更新）をクリックして更新処理を開始します。

3.6.4 Setting（設定）

「Setting(設定)」ページで、言語を変更したりサーバーの場所を選択したり、Windows 起動時に ASRock APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。



日本語

3.7 Start8

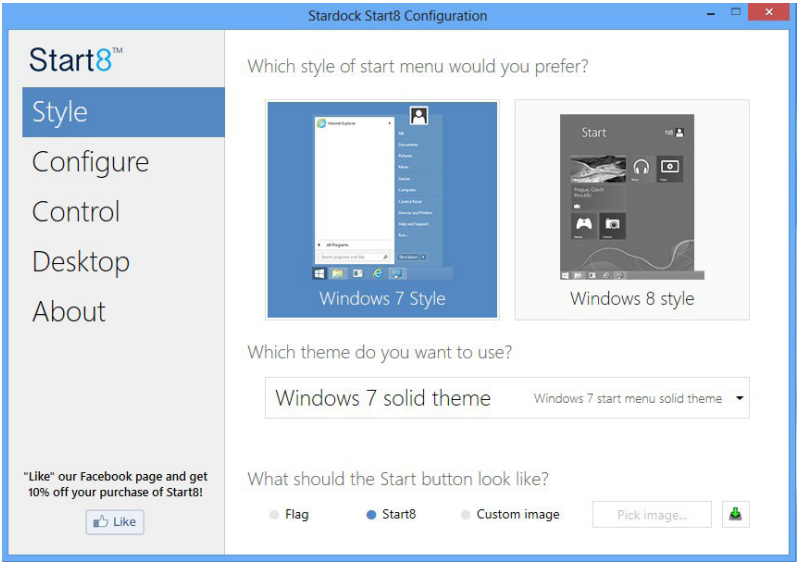
スタートアップメニューが欲しい Windows 8 ユーザー向けに、Start8 は、従来のスタートメニューを復活させるとともに、追加カスタマイズ項目で素晴らしい効率性を提供する理想的なソリューションです。

3.7.1 Start8 をインストールする

サポート CD の次のパスからフォルダにある **Start8** をインストールします:\ **ASRock Utility > Start8**（**ASRock ユーティリティ > Start8**）。

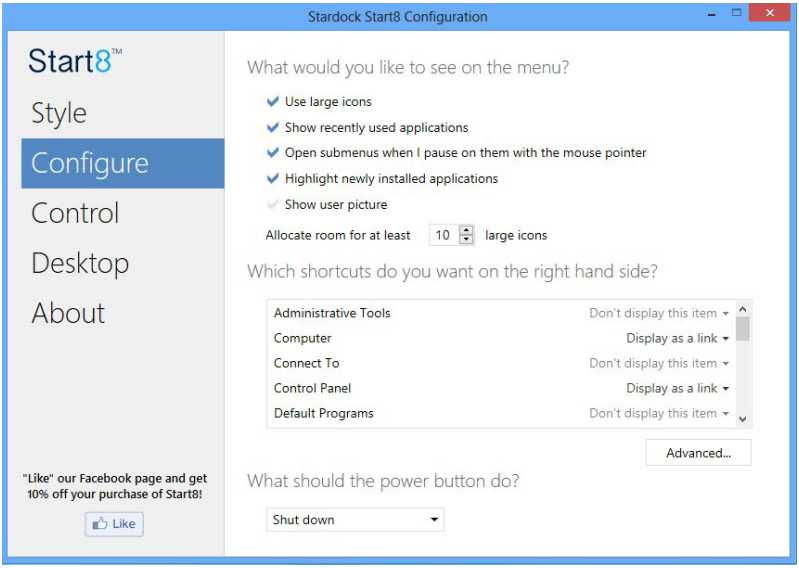
3.7.2 Start8 を設定する

Style（スタイル）



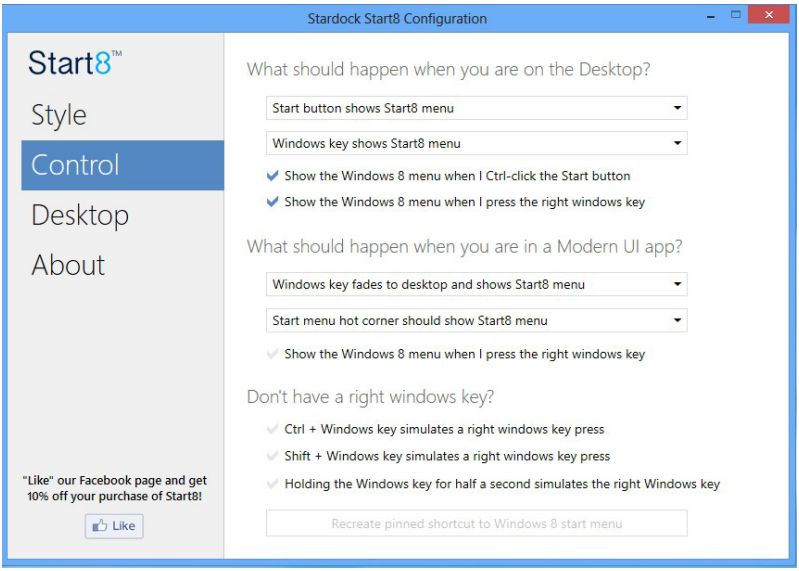
Windows 7 スタイルのスタートメニューと Windows 8 スタイルのスタートメニューから選択します。次に、スタートメニューのテーマを選択して、スタートアイコンのスタイルをカスタマイズします。

Configure（設定）



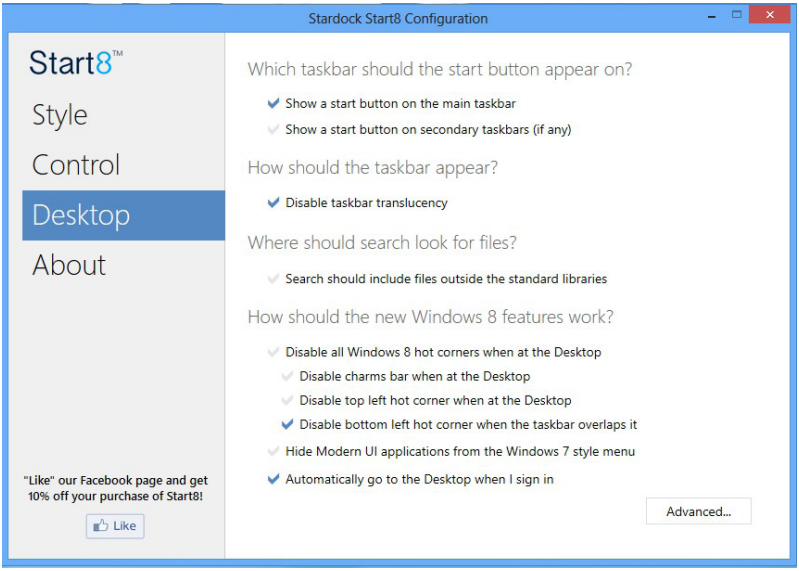
Configure（設定）には設定オプションが含まれます。設定オプションには、アイコンサイズ、スタートメニューを表示する際に使用するショートカットの選択、最近使用したアプリへのクイックアクセス、電源ボタンの機能性などがあります。

Control（コントロール）



Control（コントロール）で、スタートボタンをクリックした場合、または、Windows キーを押した場合の操作内容を設定できます。

Desktop（デスクトップ）



Desktop（デスクトップ）で、デスクトップで作業する際にホットコーナーを無効にできます。また、システムが起動する際に直接デスクトップモードが開くようにするかどうか、あるいは、Metro ユーザーインターフェースをバイパスするかどうかを選択することもできます。

About（情報）

Start8 に関する情報が表示されます。

第 4 章 UEFI セットアップユーティリティ

4.1 はじめに

このセクションでは、UEFI セットアップ ユーティリティを使用して、システムを構成する方法を説明します。UEFI セットアップ ユーティリティ は、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または <Del> を押すことによって起動できます。さもなくば、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップ ユーティリティを開始するには、<Ctl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムの電源を切りまた入れても、再起動できます。

UEFI ソフトウェは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

4.1.1 UEFI メニューバー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main (メイン)	システムの時間/日付情報の設定
OC Tweaker (OC 調整)	オーバークロック設定
Advanced (詳細設定)	システムの詳細設定
Tool (ツール)	便利なツール
H/W Monitor (H/W モニター)	現在のハードウェアステータスを表示
Boot (ブート)	ブート設定およびブートの優先順位の設定
Security (セキュリティ)	セキュリティ設定
Exit (終了)	現在の画面または UEFI セットアップ ユーティリティを終了

4.1.2 ナビゲーションキー

メニューバーのカテゴリーを選択するには、< ← > キーまたは < → > キーを使用します。カーソルを上下に動かしアイテムを選択するには、< ↑ > キーまたは < ↓ > キーを使用し、<Enter> を押してサブ画面に移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップ ユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読込み
<F10>	変更を保存して、セットアップ ユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

4.2 Main (メイン) 画面

UEFI セットアップ ユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。

Favorite (お気に入り)

BIOSアイテムのコレクションを表示「お気に入り」の中のコレクションを追加/削除する場合はF5を押してください。

Active Page on Entry (開始時のアクティブページ)

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトページを選択します。

Full HD UEFI (フルHD UEFI)

「自動」を選択すると解像度は1920 x 1080に設定されます。(ご使用のモニターがフルHDに対応している場合)もしモニターがフルHD非対応であれば、解像度は1024 x 768に設定されます。「無効」に設定すると、モニタの解像度は1024 x 768に設定されます。

UEFI Guide (UEFI ガイド)

UEFI ガイドは、ASRock の UEFI セットアップ ユーティリティのクイック チュートリアルです。「ESC」を押してチュートリアルを中止できます。

4.3 OC Tweaker (OC 調整) 画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。

UEFI ソフトウェは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

Advanced Turbo (アドバンス ターボ)

このオプションにより、システムのパフォーマンスを向上することができます。このオプションは、CPU がこの機能に対応しているときにのみ表示されます。このオプションは、K-シリーズの CPU を採用しているときにのみ表示されます。

Non-Z OC

Non-Z OC機能は、Z97チップセットを搭載したマザーボードでなくてもハズウェルKシリーズのCPUを使えば、オーバークロックが可能になる機能です。

Load Optimized CPU OC Setting (最適な CPU OC 設定の読込み)

このオプションにより、最適な CPU オーバークロック設定を読み込むことができます。オーバークロックすると、CPUとマザーボードが損傷する原因となります。ご自分の責任で行ってください。このオプションは、K-シリーズの CPU を採用しているときにのみ表示されます。

Load Optimized GPU OC Setting (最適な GPU OC 設定の読込み)

このオプションにより、最適な GPU オーバークロック設定を読み込むことができます。オーバークロックすると、GPU やマザーボードが破損することがあります。ご自分の責任で行ってください。このオプションは、K-シリーズの CPU を採用しているときにのみ表示されます。

CPU 設定

CPU Ratio (CPU レシオ)

CPU の速度は、CPU レシオに BCLK が掛け合わされて決まります。CPU レシオを上げると、他のコンポーネントのクロック速度に影響をせず、内部の CPU クロック速度を上げられます。

CPU Cache Ratio (CPU キャッシュ レシオ)

CPU の内部バス速度レシオ。最大値は CPU レシオと同じになります。

BCLK/PCIE Frequency (BCLK/PCIE 周波数)

CPU の速度は、CPU レシオに BCLK が掛け合わされて決まります。BCLK を上げると、内部の CPU クロック速度を上げられますが、他のコンポーネントのクロック速度にも影響をします。

Spread Spectrum (スペクトラム拡散)

有効にすると、EMI テストに準ずるように電磁干渉を低減します。無効にすると、オーバークロック時に、より高速なクロックを確保します。

CPU OC Fixed Mode（CPU OC 固定モード）

CPU OC 固定モードを使って、最大 CPU レシオを設定として維持できます。その際にはスロットルはありません。オーバークロックすると、CPUとマザーボードが損傷する原因となります。ご自分の責任で行ってください。

Intel SpeedStep Technology (Intel SpeedStep のテクノロジー)

Intel SpeedStep のテクノロジーにより、節電と放熱のために、プロセッサーを複数の周波数および電圧ポイントで切り替え可能です。

Intel Turbo Boost Technology (Intel Turbo Boost のテクノロジー)

Intel Turbo Boost のテクノロジーにより、オペレーティングシステムが最高水準のパフォーマンスを要求するときに、プロセッサーを基本動作周波数以上で実行可能です。

Filter PLL Frequency (PLL 周波数のフィルター)

CPU BCLK フィルター周波数。オーバークロック機能の最適化のために 1.6 を選択することをお勧めします。

Long Duration Power Limit (長期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 1] (パッケージの電力制限 1) をワットで指定します。制限を超過すると、CPU レシオが徐々に下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

Long Duration Maintained (長期間維持)

[Long Duration Power Limit] (長期間電力制限) を超過したときに、CPU レシオの下げられるスピードを設定します。

Short Duration Power Limit (短期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 2] (パッケージの電力制限 2) をワットで指定します。制限を超過すると、CPU レシオがただちに下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

Primary Plane Current Limit (主平面電流制限)

ターボモードにある CPU の電流制限をアンペアで指定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

GT Frequency (GT 周波数)

統合 GPU の周波数を設定します。

GT Voltage Mode (GT 電圧モード)

Auto (自動)：最適に設定します。

Adaptive (適応)：システムの負荷が大きいときに、統合 GPU に電圧を追加します。

Override (オーバーライド)：電圧は固定されます。

GT Adaptive Voltage (GT 適応電圧)

システムの負荷が大きいときに、統合 GPUに追加する電圧を設定します。

GT Voltage Offset (GT 電圧オフセット)

統合 GPU に追加する固定の電圧を設定します。

DRAM のタイミング設定

Load XMP Setting (XMP 設定の読込み)

DDR3 メモリをオーバークロックし、標準仕様を超えて実行する XMP 設定を読込みます。

DRAM Reference Clock (DRAM 基準クロック)

最適な設定には [Auto] (自動) を選択します。

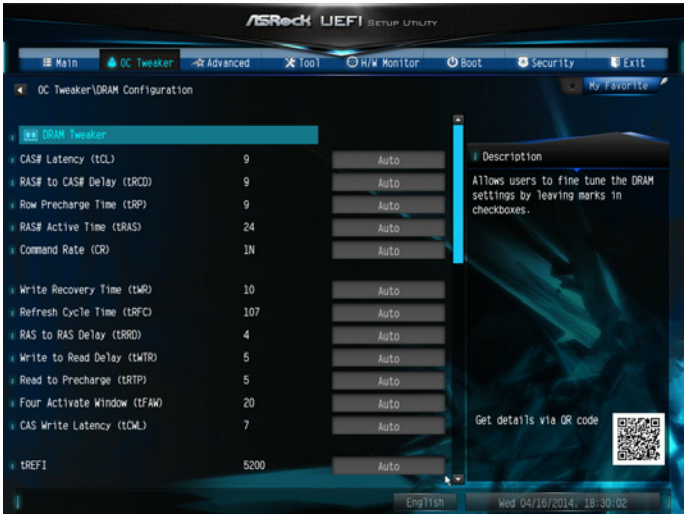
DRAM Frequency (DRAM 周波数)

[Auto] (自動) が選択されている場合、マザーボードは挿入されているメモリモジュールを検出し、適切な周波数を自動的に割り当てます。

DRAM Performance Mode（DRAM パフォーマンスモード）

高性能モードを選択してメモリ性能を向上させます。デフォルト設定を使用してシステムの安定性を改善します。

DRAM 設定



DRAM Tweaker (DRAM 調整)

チェックボックスをオン/オフすることにより、DRAM 設定を調整します。新しい設定を確認して適用するには、[OK] をクリックします。

CAS# Latency (tCL) (CAS# レイテンシー (tCL))

カラムアドレスのメモリへの送信から、データが応答までの時間。

RAS# to CAS# Delay (tRCD) (RAS# から CAS# までの遅延 (tRCD))

メモリの行を開いてから、そのうちの列へのアクセスまでに要するクロックサイクル数。

Row Precharge Time (tRP) (行プリチャージ時間 (tRP))

プリチャージ コマンドを発行してから、次の行が開かれるまでに要するクロックサイクル数。

RAS# Active Time (tRAS) (RAS# アクティブ時間 (tRAS))

バンク アクティブ コマンドから、プリチャージ コマンドを発行するまでに要するクロックサイクル数。

Command Rate (CR) (コマンドレート (CR))

メモリチップが選択されてから、最初のアクティブ コマンドが発行されるまでの遅延。

Write Recovery Time (tWR) (書き込み回復時間 (tWR))

有効な書き込み操作の完了後、アクティブなバンクがプリチャージされるまでに必要な遅延量。

Refresh Cycle Time (tRFC) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFC))

リフレッシュ コマンドから、同じランクへの最初のアクティブ コマンドまでのクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD))

同じランクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

Write to Read Delay (tWTR) (書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Read to Precharge (tRTP) (読み取りからプリチャージまで (tRTP))

読み取りコマンドから、同じランクへの行のプリチャージ コマンドまでに挿入されたクロック数。

Four Activate Window (tFAW) (4 つのアクティベート ウィンドウ (tFAW))

1 つのランクに 4 つのアクティベートが可能な時間ウィンドウ。

CAS Write Latency (tCWL) (CAS 書き込みレイテンシー (tCWL))

CAS 書き込みレイテンシーを設定します。

tREFI

平均周期の間隔でリフレッシュ サイクルを設定します。

tCKE

DDR3 がリフレッシュモードに入ってから、内部でリフレッシュ コマンドを開始する間隔を設定します。

tRDRD

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRDDR

モジュールの読み取りから、異なるランクからの読み取りの遅延を設定します。

tRDRDDD

DRAM tRWSR の自動/手動設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

tWRRD

モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRDDR

モジュールの書き込みから、異なるランクからの読み取りの遅延を設定します。

tWRRDDD

DRAM tRRSR の自動/手動設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

モジュールの書き込みから、異なる DIMM からの読み取りの遅延を設定します。

tWRWR

モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWRDR

モジュールの書き込みから、異なるランクからの書き込みの遅延を設定します。

tWRWRDD

モジュールの書き込みから、異なる DIMM からの書き込みの遅延を設定します。

tRDWR

モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWRDR

モジュールの読み取りから、異なるランクからの書き込みの遅延を設定します。

tRDWRDD

モジュールの読み取りから、異なる DIMM からの書き込みの遅延を設定します。

RTL (CHA)

チャンネル A の往復レイテンシーを設定します。

RTL (CHB)

チャンネル B の往復レイテンシーを設定します。

IO-L (CHA)

チャンネル A の IO レイテンシーを設定します。

IO-L (CHB)

チャンネル B の IO レイテンシーを設定します。

ODT WR (CHA)

チャンネル A のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT WR (CHB)

チャンネル B のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT NOM (CHA)

ODT (CHA) の自動/手動設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

ODT NOM (CHB)

ODT (CHB) の自動/手動設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

Command Tri State (トライステートのコマンド)

有効にすると、DRAM が節電モードになります。

MRC Fast Boot (MRC 高速ブート)

有効にすると、DRAM メモリトレーニングをスキップし、起動が速くなります。

DIMM Exit Mode （DIMM エグジットモード）

「Slow Exit（スローエグジット）」を選択して、消費電力を低減します。性能を向上させる場合は「Fast Exit（ファーストエグジット）」を選択します。

FIVR 設定

FIVR Switch Frequency Signature (FIVR スイッチング周波数シグネチャー)

FIVR スイッチング周波数を上げるか下げるかを選択します。

FIVR Switch Frequency Offset (FIVR スイッチング周波数オフセット)

周波数のオフセットの割合を設定します。

Vcore Override Voltage（Vcore オーバーライド電圧）

システムの負荷が大きいときに Vcore に電圧を追加します。

Vcore Voltage Additional Offset（Vcore 電圧追加オフセット）

Vcore に追加する動的 Vcore 電圧を設定します。

CPU Cache Override Voltage (CPU キャッシュ オーバーライド電圧)

システムの負荷が大きいときに、CPU キャッシュに電圧を追加します。

CPU Cache Voltage Offset (CPU キャッシュ電圧オフセット)

CPU キャッシュの電圧を設定します。電圧を高く設定することで、オーバークロック時のシステムの安定性が向上する確率が高まります。

System Agent Voltage Offset (システム エージェント電圧オフセット)

システム エージェントの電圧を設定します。電圧を高く設定することで、オーバークロック時のシステムの安定性が向上する確率が高まります。

CPU Analog IO Voltage Offset (CPU アナログ IO 電圧オフセット)

CPU アナログ I/O の電圧。

CPU Digital IO Voltage Offset (CPU デジタル IO 電圧オフセット)

CPU デジタル I/O の電圧。

CPU Integrated VR Faults (CPU 統合 VR 障害)

[FIVR Faults] (FIVR 障害) を無効にし、CPU の過電流保護および過電圧保護をトリガーするしきい値を上げ、最適なオーバークロック機能を助けます。

CPU Integrated VR Efficiency Mode (CPU 統合 VR 効率モード)

[FIVR Efficiency Management] (FIVR 効率管理) を有効にし、節電を助けます。よりすぐれたパフォーマンスとオーバークロック機能を重視する場合は、無効にします。

電圧設定

CPU Input Voltage (CPU 入力電圧)

CPU の電圧を設定します。

CPU Load-Line Calibration (CPU ロードライン キャリブレーション)

システムの負荷が大きいときに、CPU の電圧垂下を防ぐのを助けます。

DRAM Voltage (DRAM 電圧)

DRAM 電圧を設定します。

PCH 1.05V Voltage (PCH 1.05V 電圧)

チップセット 1.05V の電圧。最適なパフォーマンスにはデフォルトを使用します。

4.4 Advanced (詳細) 画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます：CPU 設定、チップセット、構成、ストレージ設定、Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー、Intel® スマート・コネクト・テクノロジー、スーパー IO 設定、ACPI 設定、USB 設定、およびトラステッド コンピューティング。

このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

日本語

4.4.1 CPU 設定

Active Processor Cores (アクティブ プロセッサー コア)

各プロセッサー パッケージで有効にするコアの数を選択します。

CPU C States Support (CPUの C 状態の有効化)

CPU の C 状態を有効にすると、電力消費が削減されます。C3、C6、および C7 を維持することをお勧めします。いずれも電力消費を最適に削減します。

Enhanced Halt State (C1E) (強化停止状態 (C1E))

電力消費を抑えます。

CPU C3 State Support (CPUの C3 状態の有効化)

スリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C6 State Support (CPUの C6 状態の有効化)

ディープスリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C7 State Support (CPUの C7 状態の有効化)

ディープスリープさせ、電力消費を抑えます。

Package C State Support (パッケージの C 状態の有効化)

CPU、PCIe、メモリ、グラフィックの C 状態サポートを有効にすると、電力消費が削減されます。

CPU Thermal Throttling (CPU サーマル スロットリング)

CPU を過熱から保護するために、CPU 内部の熱制御メカニズムを有効にします。

No-Execute Memory Protection (未実行メモリ保護)

未実行メモリ保護テクノロジーを搭載したプロセッサーは、特定クラスのバッファーオーバーフロー攻撃を防ぐことができます。

Intel Virtualization Technology (Intel Virtualizationテクノロジー)

Intel Virtualization のテクノロジーにより、プラットフォームに複数のオペレーティングシステムやアプリケーションを独立したパーティションで実行し、単一のコンピューターシステムを複数のバーチャルシステムとして機能させることができます。

Hardware Prefetcher (ハードウェア プリフェッチャー)

プロセッサーにデータとコードを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

Adjacent Cache Line Prefetch (隣接するキャッシュラインのプリフェッチ)

現在要求されたキャッシュラインを取得しながら、後続のキャッシュラインを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

4.4.2 チップセット設定

Primary Graphics Adapter (プライマリ グラフィック アダプター)

プライマリ VGA を選択します。

VT-d

I/Oの仮想化を支援する Intel® Virtualization Technology for Directed I/O (VT-d) は、アプリケーションの互換性や信頼性を向上し、また管理性、セキュリティ、分離、および I/O 性能のレベルを高めることにより、バーチャルマシンモニターのハードウェアのさらなる活用を助けます。

PCIE2 Link Speed (PCIE2 リンク速度)

PCIE2 のリンク速度を選択します。

Share Memory (共有メモリ)

システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサーに割当てるメモリのサイズを設定します。

IGPU Multi-Monitor (IGPU マルチモニター)

外部グラフィックカードがインストールされている場合に、統合グラフィックスを無効にするには、無効を選択します。有効にすると、内蔵のグラフィックスを有効のまま保ちます。

Render Standby (レンダリング スタンバイ)

GPU がアイドル状態のときに、レンダリングユニットの電力をパワーダウンし、電力消費を削減します。

Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵の HD オーディオをオン/オフします。[Auto] (自動) に設定すると、内蔵の HD オーディオは有効化され、サウンドカードがインストールされたときにのみ自動的に無効にされます。

Front Panel (フロントパネル)

フロントパネルの HD オーディオをオン/オフします。

On/Off Play (オン/オフ再生)

ASRock の [On/Off Play] (オン/オフ再生) を使用することにより、ユーザーは MP3 や携帯電話といったポータブル オーディオ デバイスを PC に接続し、たとえコンピューターの電源が入っていないときも、コンピューターのスピーカーで音楽を聴くことができます。

Onboard HDMI HD Audio (内蔵 HDMI HD オーディオ)

オーディオのデジタル出力が可能になります。

Onboard LAN (内蔵 LAN)

内蔵のネットワーク インターフェース コントローラーを有効/無効にします。

Deep Sleep (ディープスリープ)

コンピューターがシャットダウンされたときの節電を目的としたディープスリープを設定します。

Restore on AC/Power Loss (AC/電源損失で復元)

停電後の電力状態を選択します。[Power Off] (電源オフ) が選択されていると、電力が復活したときにも、電源はオフのままになります。[Power O n] (電源オン) が選択されていると、電力が復活したときには、システムが再起動します。

Good Night LED (おやすみ LED)

有効にすると、システムに電源が入ったときに、電源と HDD の LED が消えます。また、システムがスタンバイやハイバネーション モードに入ると、電源およびキーボードの LED も自動的に消えます。

4.4.3 ストレージ設定

SATA Controller(s) (SATA コントローラー)

SATA コントローラーを有効/無効にします。

SATA Mode Selection (SATA モード選択)

IDE：互換性を向上します。

AHCI：パフォーマンスを向上する新機能をサポートします。

RAID：複数のディスクドライブを組合せ、論理ユニットを構成しています。

高度なホストコントローラー インターフェース、AHCI (Advanced Host Controller Interface) は NCQ をはじめとする SATA ディスク パフォーマンスを向上する新機能に対応しますが、IDE モードはこうした機能に対応しません。

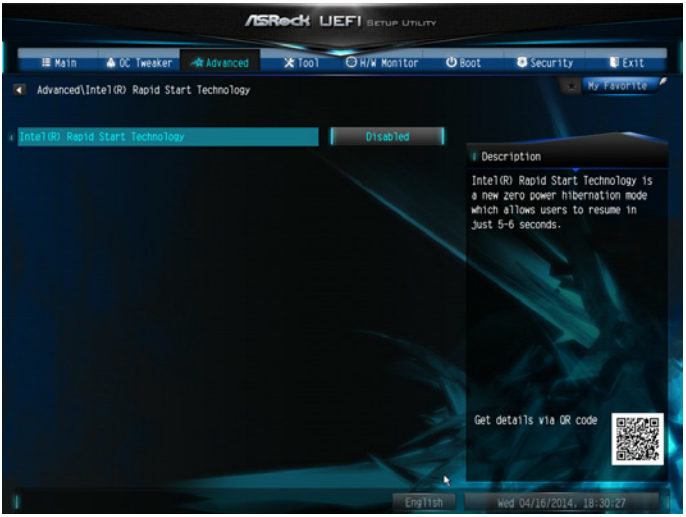
SATA Aggressive Link Power Management (SATA リンク電源積極管理)

これにより、非アクティブのときに SATA デバイスが低電力状態に入り、電力消費を削減します。AHCI モードでのみサポートされます。

Hard Disk S.M.A.R.T. (ハードディスク S.M.A.R.T.)

「S.M.A.R.T」は、Self-Monitoring (セルフモニタリング)、Analysis (分析)、Reporting (報告)、Technology (テクノロジー) を表します。コンピューターのハードディスクドライブの監視システムであり、信頼性に関するさまざまな指標を検知して報告します。

4.4.4 Intel® Rapid Start Technology (Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー)



Intel® Rapid Start Technology (Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー)

Intel® Rapid Start Technology (Intel® ラピッド・スタート・テクノロジー) は、休止状態から、ほんの5～6秒で復帰可能な新しいゼロパワー ハイバネーション モードです。

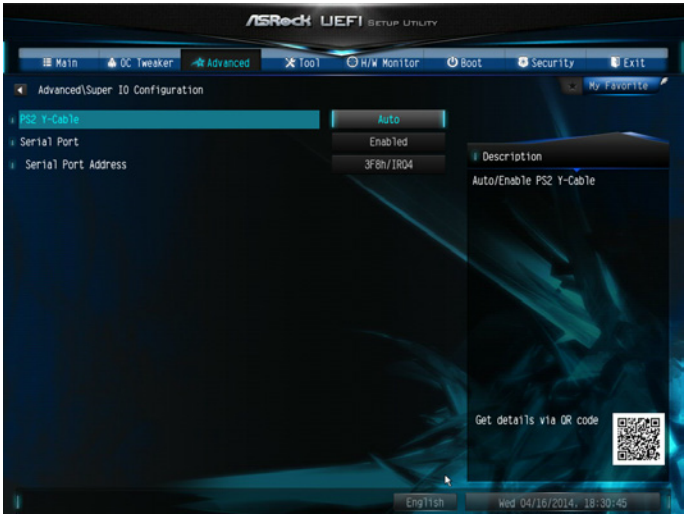
4.4.5 Intel® Smart Connet Technology (Intel® スマート・コネクト・テクノロジー)

Intel® Smart Connect Technology (Intel® スマート・コネクト・テクノロジー)

Intel® Smart Connect Technology (Intel® スマート・コネクト・テクノロジー) は、コンピューターがスリープ モードにあるときに、Eメール、またはTwitter や Facebook などのソーシャルネットワークを自動的に更新します。

日本語

4.4.6 スーパー IO 設定



PS2 Y-Cable (PS2 Y ケーブル)

PS2 Y ケーブルを有効にするか、または、このオプションを Auto(自動)に設定します。

Serial Port (シリアルポート)

シリアルポートを有効/無効にします。

Serial Port Address (シリアルポート アドレス)

シリアルポートのアドレスを選択します。

4.4.7 ACPI 設定

Suspend to RAM (RAM へのサスペンド)

無効にすると、ACPI サスペンドタイプは S1 に設定されます。[Auto] (自動) として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

Check Ready Bit (準備の確認)

S3 の後、ハードディスクの準備ができてからのみ、オペレーティングシステムに入ることを可能にします。システムの安定性の点から推奨されるオプションです。

ACPI HPET Table (ACPI HPET 表)

パフォーマンスを向上し、WHQL の認定を受けるため、[High Precision Event Timer] (高精度イベントタイマー) を有効にします。

PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボードによる電源オン)

PS/2 キーボードでシステムをウェイクアップできるようになります。

PCI Devices Power On (PCI デバイスによる電源オン)

PCI デバイスでシステムをウェイクアップできるようになり、LAN 上でのウェイクアップを可能にします。

Wake From Onboard LAN (内蔵 LAN からウェイクアップ)

内蔵の LAN でシステムをウェイクアップできるようになります。

Ring-In Power On (RI による電源オン)

内蔵の COM ポートモデムの RI 入力信号でシステムをウェイクアップできるようになります。

RTC Alarm Power On (RTC アラームによる電源オン)

リアルタイム クロックのアラームでシステムをウェイクアップできるようになります。オペレーティングシステムに処理を委ねるには、[By OS] (OS により) に設定します。

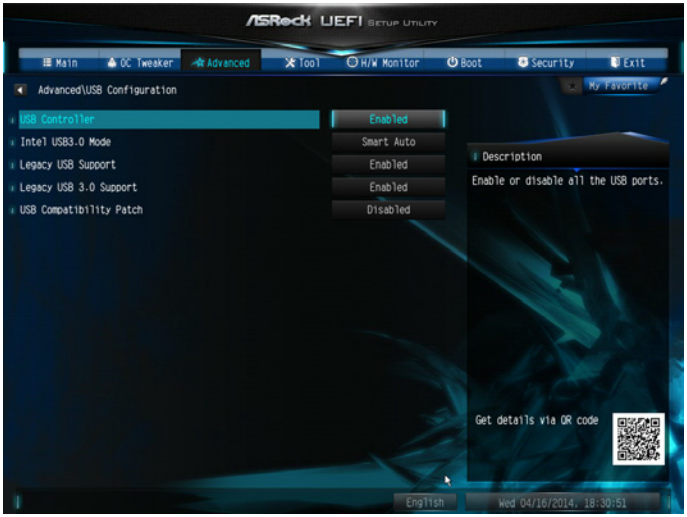
USB Keyboard/Remote Power On (USB キーボード/リモコンによる電源オン)

USB キーボードまたはリモコンでシステムをウェイクアップできるようになります。

USB Mouse Power On (USB マウスによる電源オン)

USB マウスでシステムをウェイクアップできるようになります。

4.4.8 USB 設定



USB Controller (USB コントローラー)

すべての USB ポートを有効または無効にします。

Intel USB 3.0 Mode (インテルUSB3.0モード)

インテルUSB3.0モード
インテルUSB3.0コントローラーモードを選択
再起動後にUSB3.0ドライバを使用可能な状態にするには「スマートオート」を選択（USB3.0はBIOS上では動作しません）
USB3.0ドライバを有効の状態で維持するには「有効」を選択
(windows7を使用している場合は、USBデバイスのドライバインストールが必要です。)
USB3.0ポートを無効にする場合は「無効」を選択

Legacy USB Support (レガシー USB の有効化)

USB 2.0 デバイスのレガシー OS のサポートを有効/無効にします。USB の互換性に関する問題が発生した場合は、レガシー USB を無効にすることをお勧めします。UEFI 設定および Windows/Linux オペレーティング システムのみで USB デバイスに対応するには、[UEFI Setup Only] (UEFI 設定のみ) を選択します。

Legacy USB 3.0 Support (レガシー USB 3.0 の有効化)

USB 3.0 デバイスのレガシー OS のサポートを有効/無効にします。USB の互換性に関する問題が発生した場合は、レガシー USB を無効にすることをお勧めします。UEFI 設定および Windows/Linux オペレーティング システムのみで USB デバイスに対応するには、[UEFI Setup Only] (UEFI 設定のみ) を選択します。

USB互換パッチ

ご利用のUSBデバイス(USBマウスや記憶媒体など)で、相性問題が発生した場合は、このオプションを有効にしてください。この機能を有効にすると、起動時にUSBデバイスのチェックを行うので、ファストブースト設定をしていても、起動時間が若干長くなります。

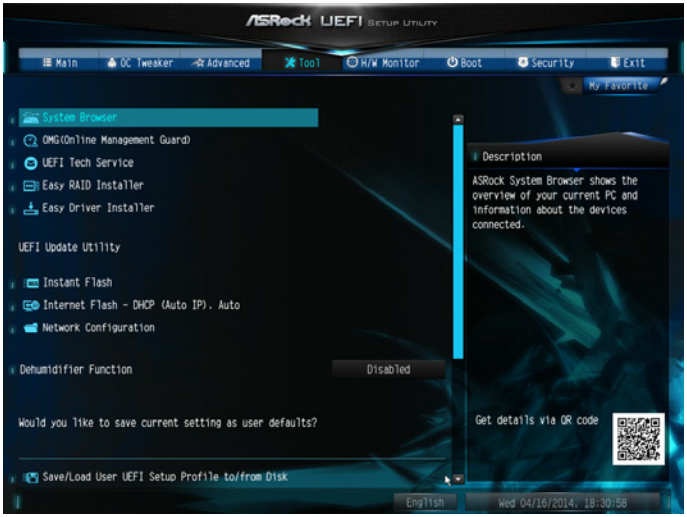
4.4.9 Trusted Computing
（トラステッド・コンピューティング）

Security Device Support (セキュリティ デバイス サポート)

セキュリティ デバイスの BIOS サポートを有効または無効にします。

日本語

4.5 Tools (ツール)



System Browser (システム ブラウザー)

ASRock System Browser は、現在の PC と接続されたデバイスの概要を表示します。

OMG (Online Management Guard) (OMG (オンラインの管理と防御))

OMG により、管理者は特定の時間帯にインターネットアクセスを制限することができます。インターネットアクセスをその他のユーザーに許可する開始時間と終了時間をスケジュールすることができます。OMG をユーザーがバイパスするのを防ぐためには、システム時間を変更する権限のないゲストアカウントが必要となります。

UEFI Tech Service (UEFI テクニカルサービス)

お使いの PC で問題が発生した場合は、ASRock のテクニカルサービスにお問い合わせください。[UEFI Tech Service] (UEFI テクニカルサービス) を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

Easy RAID Installer (簡単 RAID インストーラー)

該当する CD から USB ストレージ デバイスへの RAID ドライバーのコピーが簡単にできます。ドライバーをコピーしたら、モードを SATA から RAID へ変更すると、RAID モードでのオペレーティング システムのインストールが開始できます。

Easy Driver Installer (楽々ドライバー インストーラー)

付属の CD を挿入するディスクドライブがない場合に便利な UEFI のツールです。USB ストレージ デバイス経由で LAN ドライバーをお使いのシステムにインストールし、その後、その他の必要なドライバーも自動的にダウンロードします。

Instant Flash (インスタント フラッシュ)

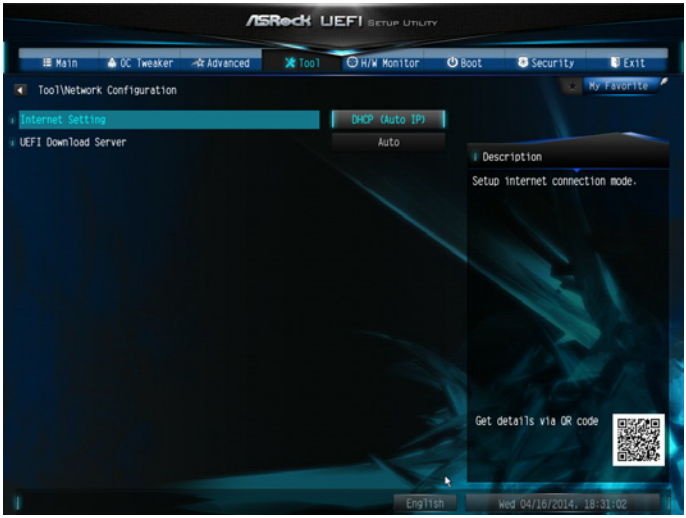
UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、[Instant Flash] (インスタント フラッシュ) を実行すると、UEFI が更新されます。

Internet Flash (インターネット フラッシュ)

ASRock の [Internet Flash] (インターネット フラッシュ) は、サーバーから最新の UEFI ファームウェアをダウンロードして更新します。[Internet Flash] (インターネット フラッシュ) を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。
*BIOS のバックアップとリカバリー用に、この機能を使用する前に、USB ペン ドライブを差し込むことをお勧めします。

Network Configuration (ネットワーク設定)

[Internet Flash] (インターネット フラッシュ) で必要なインターネット接続を設定します。



Internet Setting (インターネット設定)

セットアップ ユーティリティでのサウンドエフェクトをオン/オフします。

日本語

UEFI Download Server (UEFI ダウンロード サーバー)

UEFI ファームウェアをダウンロードするサーバーを選択します。

Dehumidifier Function (除湿機能)

[Dehumidifier Function] (除湿機能) がオンになっている場合は、S4/S5 状態に入った後、システムを除湿するためコンピューターの電源が自動的に入ります。

Dehumidifier Period (除湿開始時間)

S4/S5 状態に入った後、コンピューターの電源が入り除湿を始めるまでの時間(長さ)を設定します。

Dehumidifier Duration (除湿終了時間)

S4/S5 状態になるまでの、除湿プロセスの時間(長さ)を設定します。

Dehumidifier CPU Fan Setting (除湿用 CPU ファン設定)

除湿している間の CPU のファンの回転速度を設定します。値が大きいほど、回転速度は速くなります。

最大:255

最小:1

Save User Default (ユーザー定義の保存)

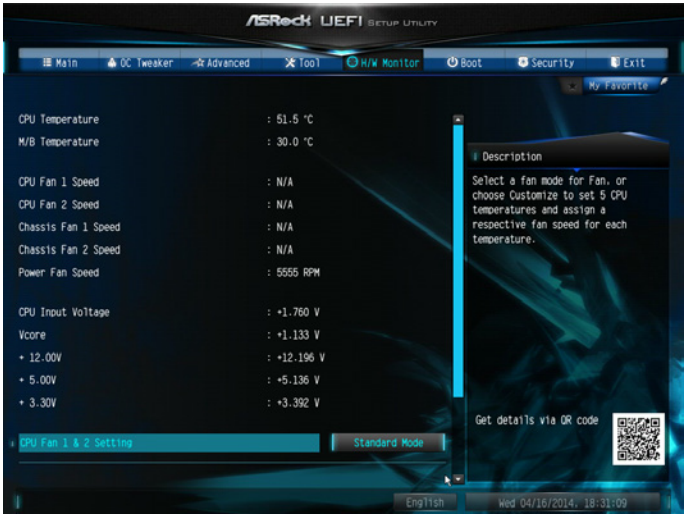
設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default (ユーザー定義の読込み)

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

4.6 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェア ヘルス イベント監視) 画面

このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。



CPU Fan 1 & 2 Setting (CPU ファン 1 & 2 設定)

CPU ファン 1 および 2 のファンモードを選択します。または [Customize] (カスタマイズ) を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

Chassis Fan 1 Setting (ケースファン 1 設定)

ケースファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize] (カスタマイズ) を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

Chassis Fan 2 Setting (ケースファン 2 設定)

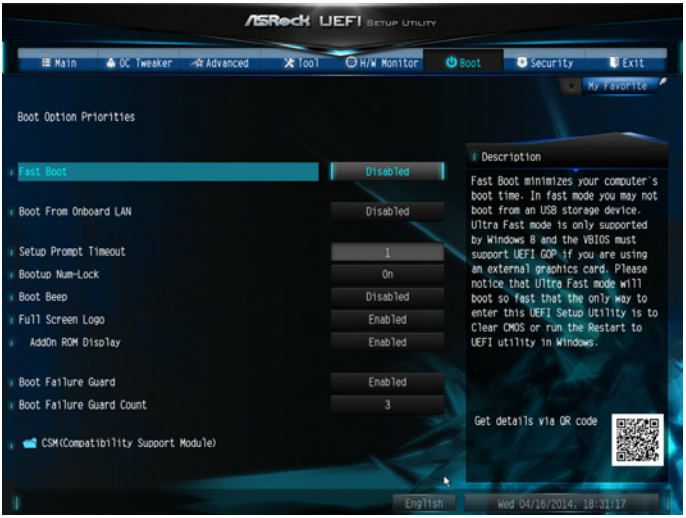
ケースファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize] (カスタマイズ) を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

Over Temperature Protection (過熱保護)

有効にすると、マザーボードが過熱したとき、システムは自動的にシャットダウンします。

4.7 Boot (ブート) 画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



Fast Boot (高速ブート)

コンピューターのブート時間を最小化します。高速モードでは、USB ストレージ デバイスからブートすることはできません。Ultra Fast(超高速モード)に対応するのは Windows 8.1/8 だけです。外部グラフィックカードを使用している場合は、VBIOS が UEFI GOP に対応しなければなりません。超高速モードは、このUEFI セットアップ ユーティリティで CMOS を消去したり、Windows で UEFI に再起動したりするためにのみ使用する高速ブートですので、ご注意ください。

Boot From Onboard LAN (内蔵 LAN からのブート)

内蔵の LAN でシステムをウェイクアップできるようになります。

Setup Prompt Timeout (設定プロンプトのタイムアウト)

ホットキー設定のための待機時間を秒数で指定します。

Bootup Num-Lock (起動時の数値ロック)

起動時にテンキーに数値ロックをかけるかを選択します。

Boot Beep (ブート ビープ音)

起動時にビープ音をならすかを選択します。ブザーが必要になります。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

有効にすると、ブートロゴが表示され、無効にすると通常の POST メッセージが表示されます。

AddOn ROM Display (アドオン ROM 表示)

有効にすると、アドオン ROM メッセージが表示されます。また [Full Screen Logo] (全画面ロゴ) が有効の場合は、アドオン ROM の設定もできます。ブート速度を重視する場合は、無効にします。

Boot Failure Guard (ブート障害ガード)

コンピューターが何度もブートに失敗すると、システムがデフォルトの設定を自動的に復元します。

Boot Failure Guard Count (ブート障害ガード カウンター)

システムがデフォルトの設定を復元するまでの試行回数を指定します。

CSM : Compatibility Support Module (CSM : 互換性サポート モジュール)

CSM

[Compatibility Support Module] (互換性サポート モジュール) を起動します。WHCK テストを実行している場合以外は、無効にしないでください。Windows 8.1/8 64-bit を使用しており、すべてのデバイスが UEFI に対応する場合は、CSM を無効にして起動時間を高速化することもできます。

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

UEFI オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[UEFI] を選択します。レガシー オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[Legacy] (レガシー) を選択します。起動しない場合(?)

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

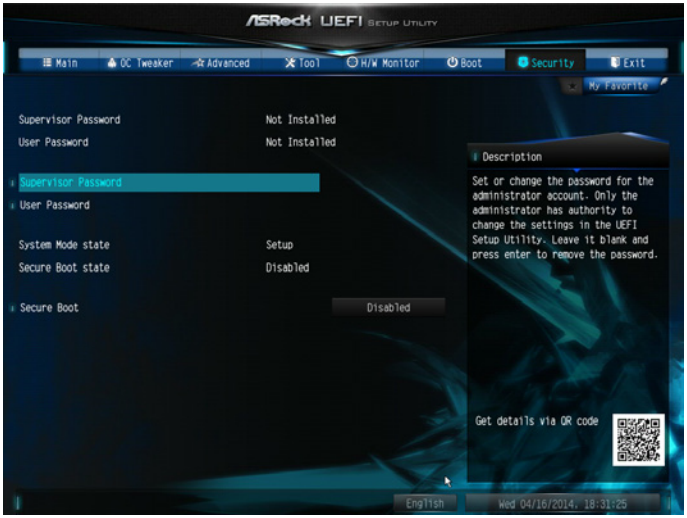
UEFI オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[UEFI] を選択します。レガシー オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[Legacy] (レガシー) を選択します。起動しない場合(?)

Launch Video OpROM Policy (ビデオ OpROM ポリシーの起動)

UEFI オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[UEFI] を選択します。レガシー オプション ROM のみ対応のポリシーを起動するには、[Legacy] (レガシー) を選択します。起動しない場合(?)

4.8 Security (セキュリティ) 画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザー パスワードを消去することもできます。



Supervisor Password (スーパーバイザー パスワード)

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password (ユーザー パスワード)

ユーザー アカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot (セキュア ブート)

Windows 8.1 / 8 のセキュアブートに対応します。

4.9 Exit (終了) 画面

Save Changes and Exit (変更を保存して終了)

このオプションを選択すると、「設定の変更を保存して設定を終了しますか?」というメッセージが表示されます。変更を保存して UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes and Exit (変更を保存しないで終了)

このオプションを選択すると、「設定の変更を保存しないで終了しますか?」というメッセージが表示されます。変更を保存することなく、UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes (変更を破棄)

このオプションを選択すると、「変更を破棄しますか?」というメッセージが表示されます。すべての変更を破棄するには、[OK] を選択します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読込み)

すべてのオプションで既定値を読み込みます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device (ファイルシステム デバイスから EFI シェルを起動)

ルート ディレクトリへ shellx64.efi をコピーして、EFI シェルを起動します。

連絡先情報

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト http://www.asrock.com をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的なご質問がある場合は、http://www.asrock.com/support/tsd.asp でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

2F., No.37, Sec.2, Jhongyang S. Rd., Beitou District,

Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

ASRock EUROPE B.V.

Bijsterhuizen 3151

6604 LV Wijchen

オランダ

電話:+31-24-345-44-33

ファックス:+31-24-345-44-38

ASRock America, Inc.

13848 Magnolia Ave, Chino, CA91710

U.S.A.

電話:+1-909-590-8308

ファックス:+1-909-590-1026